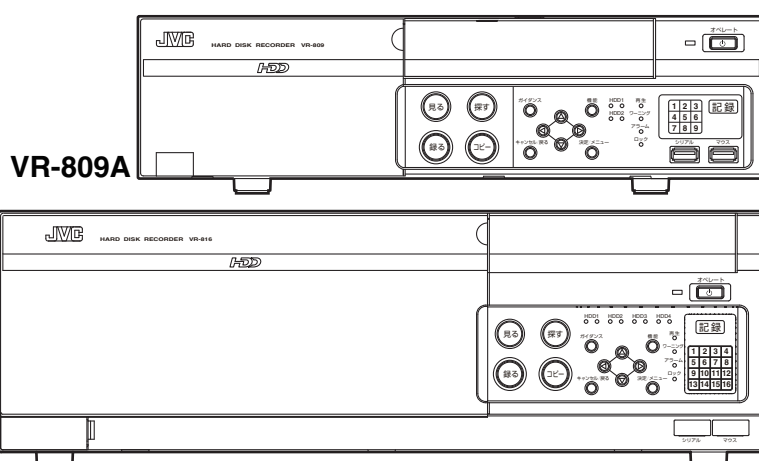


JVC

ハードディスクレコーダー

型名
VR-809A
VR-816A

HDR Viewer ユーザーズガイド



このユーザーズガイドは、「取扱説明書」から HDR Viewer の使い方について抜粋したものです。
本文中では、VR-809A を VR-809 および VR-816A を VR-816 と、“A” なしで記載しています。

もくじ

外部機器との接続

HDR Viewer を使う 2

 HDR Viewer のインストール 3

 HDR Viewer の接続環境 (ローカル接続の場合) 4

 ハードディスクレコーダー側のネットワーク設定をする 4

 パソコンのネットワーク設定をする 6

 HDR Viewer の起動と終了 7

 HDR Viewer 各部の名称とはたらき 8

 ハードディスクレコーダーを登録する 9

 HDR Viewer で “見る” 10

 表示エリアの画像の一部を拡大して表示する 14

 HDR Viewer で “探す” 15

 HDR Viewer で “コピー” する 18

 HDR Viewer で改ざん検出をする 19

 HDR Viewer の詳細設定 19

 ハードディスクレコーダーのワーニング情報を表示する 24

 アラームが発生した画像を自動的に表示する 25

 静止画を保存・印刷をする 26

 ブロック別での起動・登録する 27

NAS にコピーした画像を HDR Viewer で見る 28

 Windows XP でネットワークドライブを割り当てる 28

 Windows 7/Vista でネットワークドライブを割り当てる 29

 NAS ドライブ内のフォルダー構成 29

 NAS に自動コピーした画像を再生する 30

 NAS に手動コピーした画像を再生する 30

困ったときは

ビューワーソフトウェア (HDR Viewer) 操作時のトラブル 32

HDR Viewer を使う

添付のビューワーソフトウェア (HDR Viewer) は、ハードディスクレコーダー VR-809/VR-816 に対応した専用ビューワーソフトウェアです。「ハードディスクレコーダー」および「機器」と記載している場合は、VR-809/VR-816 を示します。

HDR Viewer の主な特長

- LAN を利用して VR-809/VR-816 に接続することで以下の操作が行えます。
- VR-809/VR-816 に入力されているカメラのライブ配信画像を表示する
 - VR-809/VR-816 に記録されている画像を検索、再生、切り出し保存する
 - VR-809/VR-816 のワーニング情報を表示する
 - ライブ配信画像、再生配信画像を静止画保存、印刷する
 - 複数台のハードディスクレコーダー (最大 16 台×32 ブロック) を統合管理する

メモ :

- HDR Viewer は、1 台のパソコンに対して 1 アプリケーションしか起動できません。
- ハードディスクレコーダー 1 台あたり、最大 5 台のパソコンで起動した HDR Viewer から接続することができます。
- ハードディスクレコーダー 1 台あたり、最大 80 のライブ画面を見ることができます。
- 80 画面を越えた場合、“接続数オーバーのため表示できません”のメッセージが表示されます。
- ハードディスクレコーダーは、先に要求のあった処理を優先して実行します。
- HDR Viewer では、以下のポートを使用します。
 - TCP : 80 番ポート (配信、制御用)
 - UDP : 21000 番ポート (イベント通知用)
- パソコンのタイムゾーンは「日本 (UTC+09:00)」に設定してください。

HDR Viewer の動作環境

OS	Windows XP Professional SP3 日本語版 (32bit 版) Windows Vista Business/Enterprise/Ultimate SP2 日本語版 (32bit 版/64bit 版) Windows 7 Professional/Enterprise/Ultimate SP1 日本語版 (32bit 版/64bit 版) Windows 8.1 日本語版 (64bit 版) Windows 10 Pro 日本語版 (64bit 版)
CPU	Intel Core2 Duo 2.4GHz 以上
メモリー	32bit 版 OS... 1GB 以上 64bit 版 OS... 2GB 以上
モニター	SXGA (1280 x 1024 ピクセル) 以上
HDD	50 MB 以上 (インストール領域として) • 作業領域として、最大 5 GB の空き容量が必要です。 • 記録画像ファイルの切り出しを行う場合は、ハードディスクに十分な空き容量が必要です。
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 2.0、2.5、3.0、3.5 および、DirectX 9.0 以降 メモ : • “アプリケーションを正しく初期化できませんでした (0xc0000135)。[OK] をクリックしてアプリケーションを終了してください。”とメッセージが表示される場合は、Microsoft .Net Framework がインストールされていない場合があります。Microsoft よりアップデートしてください。 Windows 8.1 または 10 の場合は、インターネットに接続し「Windows の機能の有効化または無効化」を使用して Microsoft .NET Framework 3.5 をインストールしてください。

ご注意 :

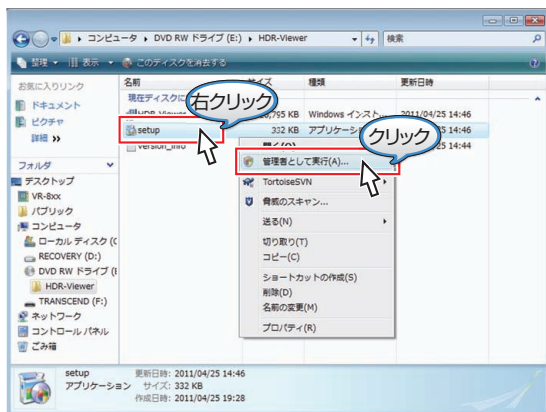
- 上記の仕様は、添付のビューワーソフト (HDR Viewer) を快適にお使いいただくためのめやすであり、動作保証するものではありません。
- 動作環境条件を満たしているパソコンをお使いの場合でも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。

HDR Viewer のインストール

添付の HDR Viewer をパソコンにインストールします。
下記は Windows 7/Vista での手順です。

1 同梱の CD-ROM をパソコンに入れ、HDR-Viewer フォルダの Setup を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする

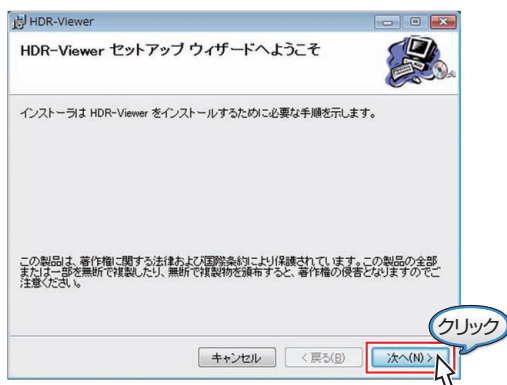
インストールするときは、管理者の権限で実行する必要があります。



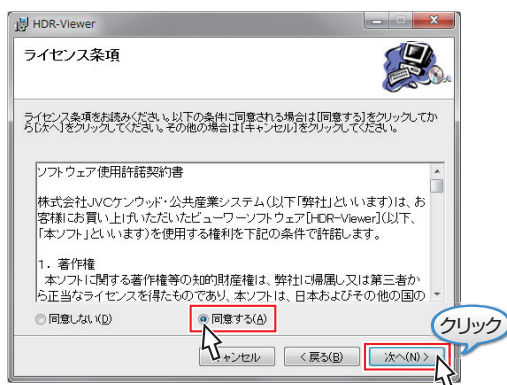
メモ：

- Windows XP の場合、コンピューターの管理者権限があるアカウントでログインし、HDR Viewer フォルダの Setup をダブルクリックしてください。

2 セットアップウィザード画面で[次へ]をクリックする

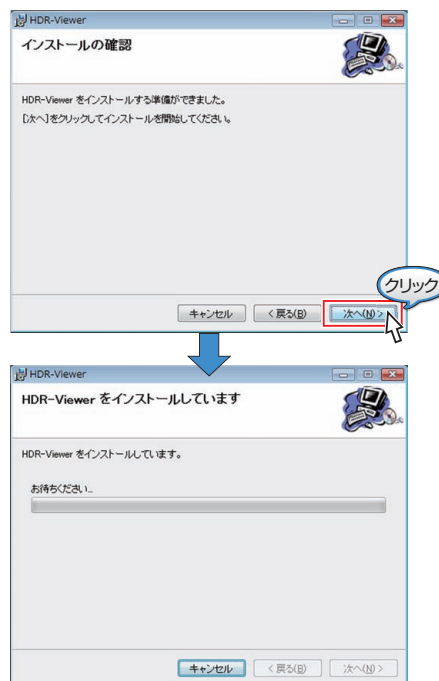


3 使用許諾書を読み、条件を同意する場合は[同意する]をクリックする



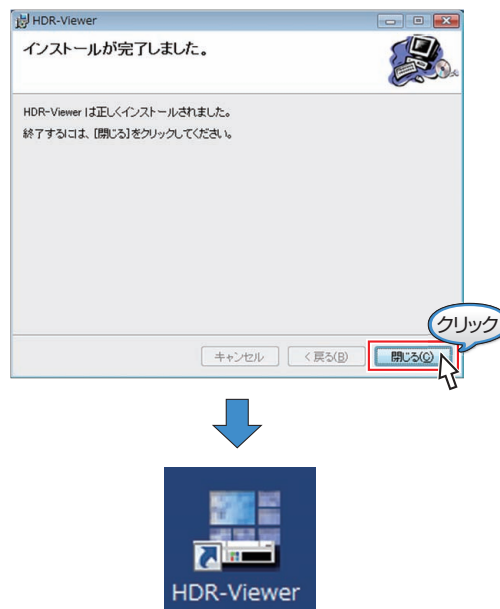
4 インストールを開始する

- インストール確認画面で[次へ]をクリックしインストールを開始します。
- 途中でインストールを中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。



5 インストール終了

- インストール完了画面が表示されたら、インストール完了です。[閉じる]をクリックし画面をとじます。
- デスクトップに "HDR-Viewer" のショートカットアイコンが作成されます。

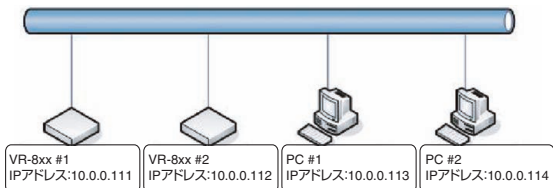


ご注意：

- 添付ビューワーソフトウェア (HDR Viewer) のパソコンへのインストールは本機 1 台につきパソコン 1 台のみとなります。それを越えて複数のパソコンにインストールしたい場合は、ビューワーソフトウェア (HDR Viewer) を別途ご購入ください。
- 購入方法につきましては、販売店またはご相談窓口までお問い合わせください。

HDR Viewer の接続環境(ローカル接続の場合)

"ハードディスクレコーダーを登録する" (P.9)



■ VR-8xx #1 をPC #1上で起動しているビューワーに登録する場合、以下のように入力

チェックを入れる必要はありません。

■ VR-8xx #2 をPC #2上で起動しているビューワーに登録する場合、以下のように入力

チェックを入れる必要はありません。

ご注意:

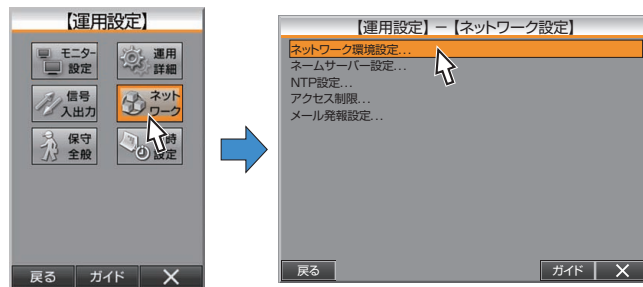
- 工場出荷時、配信・制御ポートは 80 番、メッセージ通知は UDP:21000 番です。WAN 環境で使用する場合は、使用するルーターのネットワーク設定をご確認ください。

ハードディスクレコーダー側のネットワーク設定をする

本機につないだモニター画面を見ながら、設定します。

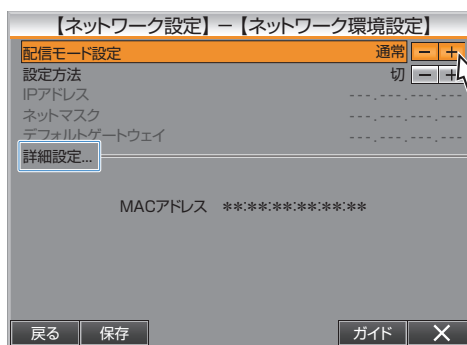
1 [ネットワーク設定]画面を開く

[設定メニュー]→[運用設定]→[ネットワーク]の順にひらき、[ネットワーク環境設定]をクリックします。



2 [ネットワーク環境設定]を行う

工場出荷時は下記のように設定されています。



手順 4へ

項目	内容(●:初期値)
配信モード設定	配信時の画像サイズを設定します。 "通常"に設定した場合、HDR Viewer 側で要求した画像サイズで配信します。 "QVGA"に設定した場合、QVGA サイズ固定で配信します。 [設定値: ● 通常、QVGA]
設定方法	IP アドレスの設定方法を選びます。 "固定 IP"(DHCP サーバーを使用しない)に設定した場合のみ、以下の項目が設定可能となります。 [設定値: 切、● 固定 IP、DHCP]
IP アドレス	[設定方法]が "固定 IP"の場合のみ設定可能です。 設定変更する場合は、クリックするとアドレス入力画面が表示されます。 [初期値: 192.168.1.243]
ネットマスク	[設定方法]が "固定 IP"の場合のみ設定可能です。 設定変更する場合は、クリックするとアドレス入力画面が表示されます。 [初期値: 255.255.255.0]
デフォルトゲートウェイ	[設定方法]が "固定 IP"の場合のみ設定可能です。 設定変更する場合は、クリックするとアドレス入力画面が表示されます。 [初期値: 192.168.1.254]
MAC アドレス	参照値です。変更はできません。

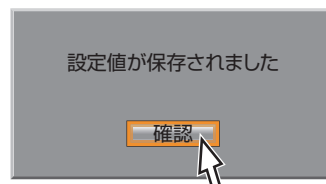
3 IP アドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定する
 ([設定方法]が"固定 IP"の場合のみ)

- 各項目をクリックすると、アドレス入力画面が表示されます。
- 入力が完了したら [確定] をクリックします。



5 設定を完了する

- [保存] をクリックすると、設定が保存され、確認画面が表示されます。
- [確認] をクリックして、設定を完了します。



メモ :

- カーソルの位置は、[←][→] をクリックか、アドレス入力部を直接選択で変更できます。
- [×] をクリックすると設定をキャンセルして、アドレス入力画面をとじます。(変更内容は反映されません)
- IP アドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイを、IP カメラの LAN ポートと同じネットワークドメインに設定すると IP カメラが接続できなくなります。設定時にネットワーク環境を確認してください。
- IP カメラポートのネットワークアドレスの初期値は、192.168.0.243 です。

6 本機を再起動する

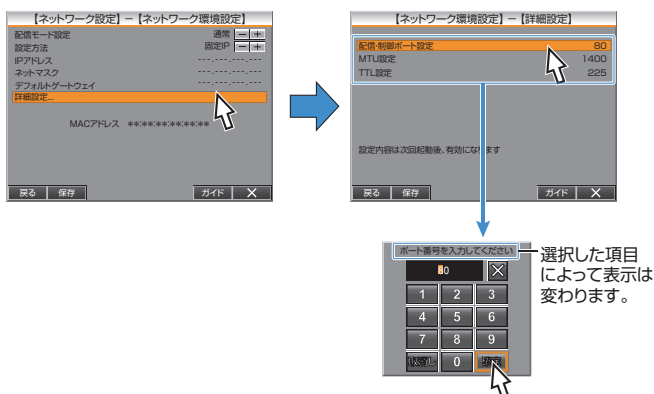
設定は、本機を再起動したときに反映されます。設定を反映したい場合はすぐに再起動してください。

メモ :

- 本機をつなぐ LAN 環境で、各設定値が規定されているときは、ネットワーク管理者にご相談ください。
- [設定方法] を "DHCP" に設定した場合、このメニュー画面を抜けて再度表示させると DHCP サーバーから割り振られた IP アドレスが表示されます。IP アドレスが変更されている場合、確認画面が表示されますので更新してください。
- [設定方法] を "DHCP" に設定後は、上記手順によって必ず IP アドレスを確認してください。
- [設定方法] を "DHCP" に設定した場合、本機は起動時および設定変更時のみ IP アドレスの取得動作を行います。起動後にネットワークが有効になった場合は、IP アドレスの取得のため、[設定方法] を一度別のものに変更してから "DHCP" に設定し直してください。
- [設定方法] を "DHCP" に設定してある状態で、DHCP サーバーからの設定の取得に失敗した場合は、以前の固定 IP に設定した値が設定されます。

4 [配信・制御ポート設定]、[MTU 設定]、[TTL 設定]など詳細設定をする

- [詳細設定] をクリックし、各項目を設定します。
- 各項目をクリックすると、入力画面が表示されます。
- 入力が完了したら [確定] をクリックします。



項目	内容(●:初期値)
配信・制御ポート設定	配信時のポート番号を設定します。 [設定値:2~32767(●:80)]
MTU 設定	1 回の転送で送信できるデータの最大値を設定します。(単位はバイト) [設定値:1280~1500(●:1400)]
TTL 設定	パケットの有効期間を表す TTL の値を設定します。ルーターなどを 1 回経由されるたびに値が 1 減少します。 [設定値:1~255(●:255)]

メモ :

- [取消] をクリックすると、入力がキャンセルされ、はじめから入力のやり直しができます。
- [×] をクリックすると入力画面がとじます。

パソコンのネットワーク設定をする

ここでは、本機の工場出荷設定を利用し、小規模の LAN を構築する場合を設定例として説明します。
以下の設定は、Windows7 の場合の手順です。

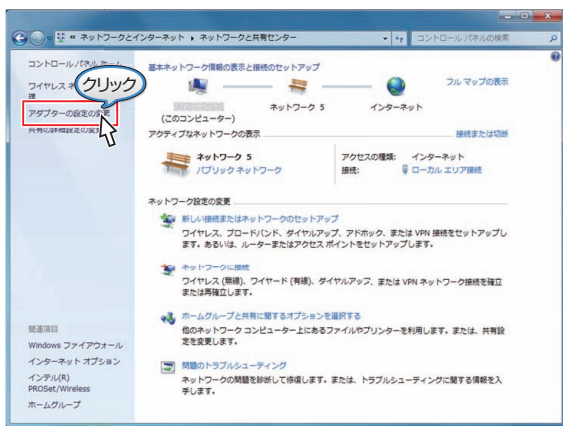
- 1 [スタート]をクリックし、その中の[コントロールパネル]をクリックする



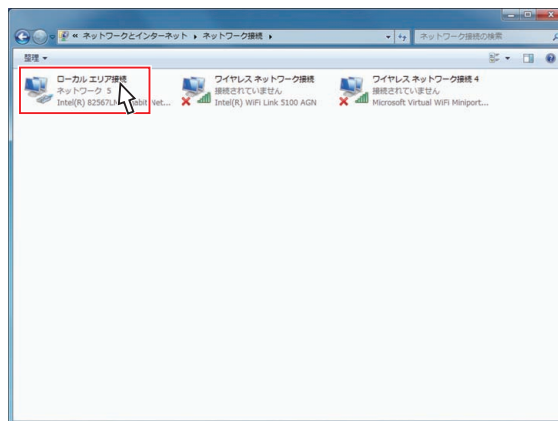
- 2 [ネットワークとインターネット]の中の[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックする



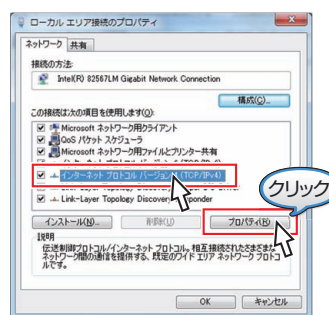
- 3 左側のメニューの[アダプターの設定の変更]をクリックする



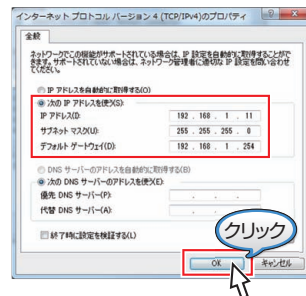
- 4 [ローカルエリア接続]アイコンを右クリックし、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックする



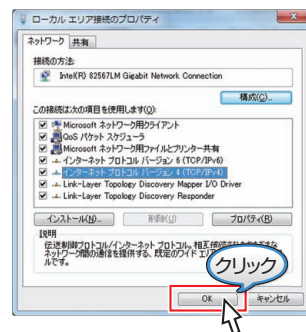
- 5 [インターネット プロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックする



- 6 [次の IP アドレスを使う]を設定し、[OK]をクリックする
[IP アドレス]: "192.168.1.11"に設定する
[サブネットマスク]: "255.255.255.0"に設定する
[デフォルトゲートウェイ]: "192.168.1.254"に設定する



- 7 [ローカルエリア接続のプロパティ]画面の[OK]をクリックする



ご注意:

- ネットワーク環境内で同じ IP アドレスを使わないように設定してください。
- パソコンのネットワーク設定では、1 つの NIC (Network Interface Card) に対して、複数の IP アドレスを登録しないでください。
- 本機には、[LAN] と [IP CAMERA] の 2 つの LAN 端子がありますので、重複するネットワークドメインを設定しないでください。

HDR Viewer の起動と終了

■ HDR Viewer の起動

ご注意:

- ソフトウェアインストール直後は、ハードディスクレコーダーが登録されていません。管理者権限で起動して、接続するハードディスクレコーダーを登録してください。
"ハードディスクレコーダーを登録する" (P.9)
- 工場出荷時の管理者パスワードとパスワードの変更方法については、"管理者権限パスワードを変更する" (P.20) をご覧ください。

1 デスクトップにある "HDR-Viewer" のショートカットアイコンをダブルクリックする

Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] の [JVC] → [HDR Viewer] → [HDR Viewer] をクリックしても起動します。



2 ログイン画面でパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックする

- HDR Viewer の動作モードには、管理者権限と、一般ユーザー権限の 2 種類があります。
- パスワード入力欄に何も入力しないでログインした場合、一般ユーザー権限で起動します。
- 管理者パスワードを入力した場合、管理者モードで起動し、ソフトウェアの設定機能が使用できます。



メモ:

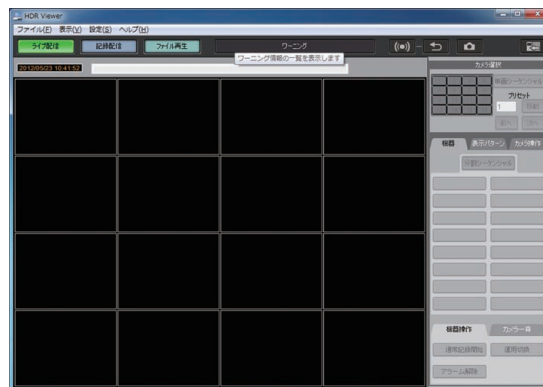
- [キャンセル] をクリックすると、ログインを中断し、HDR Viewer を終了できます。
- [選択...] をクリックすると、複数台のハードディスクレコーダーをブロック管理することができます。
- ブロック名の変更、順序の入れ換え方法については、"ブロック別での起動・登録する" (P.27) をご覧ください。
- カメラ操作を有効にする場合、[機器の詳細設定] のカメラコントロールの各カメラにチェックを入れます。
"機器登録の詳細設定をする" (P.21)

3 HDR Viewer が起動する

HDR Viewer が起動したら、ハードディスクレコーダーを登録してからさまざまな設定および操作を行います。

"HDR Viewer 各部の名称とはたらき" (P.8)

"ハードディスクレコーダーを登録する" (P.9)

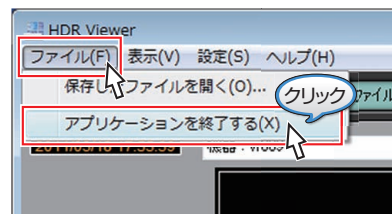


メモ:

- すでに機器登録されている場合、"機器の設定を読み込んでいます。しばらくお待ちください" と表示されます。

■ HDR Viewer の終了

HDR Viewer を終了する場合は、[ファイル] メニューを選択し、[アプリケーションを終了する] をクリックしてください。



メモ:

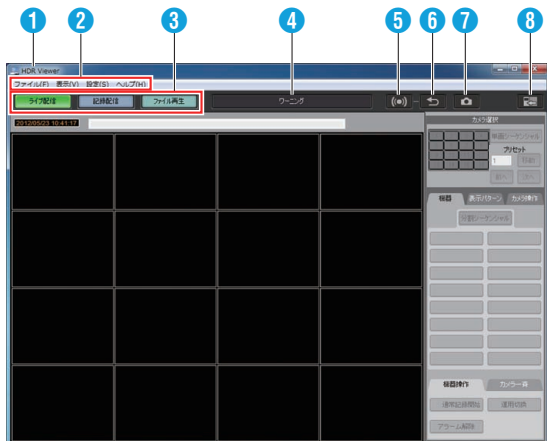
- 終了時は、"機器の設定の終了処理中です。しばらくお待ちください" と表示されます。
- ハードディスクレコーダーと接続されている状態で終了した場合には、ハードディスクレコーダーとの接続が切断されます。

操作		管理者	一般ユーザー
見る	ライブ配信	○	○
	カメラコントロール		
探す	記録配信	○	○
	ファイル再生		
録る	記録開始・停止	○	×
	アラーム解除		
コピー	選択画像の保存	○	○
	スライダーからコピー		
設定	アプリケーションの設定	○	×
	機器の登録		
	表示パターンの登録		
	接続機器の設定		
	管理者パスワードの変更		
	機器と表示パターンの設定初期化		

HDR Viewer 各部の名称とはたらき

HDR Viewer の各部の名称・はたらきを説明します。
HDR Viewer 操作のモードによって、[ライブ配信]・[記録配信]・[ファイル再生]の3画面で構成されています。

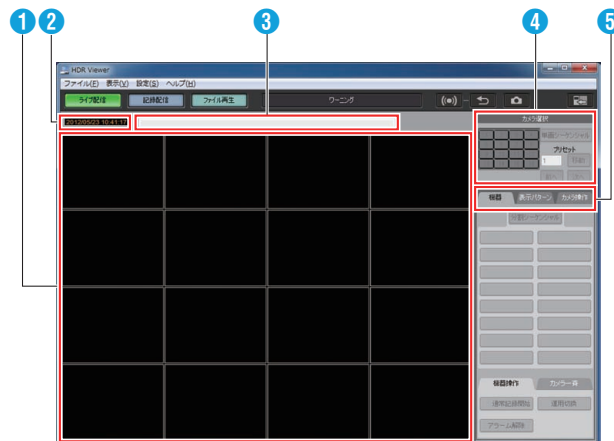
■ 各モード画面の共通部分



- ① **タイトルバー**
アプリケーション名が表示されます。
- ② **メニューバー**
ファイル(F)、表示(V)、設定(S)、ヘルプ(H)とそれぞれのメニューが表示されます。
- ③ **モード切替ボタン**
[ライブ配信]・[記録配信]・[ファイル再生]それぞれクリックすると、各モード画面に切り換わります。
- ④ **[ワーニング]ボタン**
ハードディスクレコーダーのワーニング情報を表示します。
"ハードディスクレコーダーのワーニング情報を表示する" (P.24)
- ⑤ **アラーム優先 ON/OFF ボタン**
アラームが入力されたときに、対応するカメラのライブ配信画像に切り換えるかどうかの設定をします。
"アラームが発生した画像を自動的に表示する" (P.25)
- ⑥ **アラーム復帰ボタン**
アラームによる切り換え動作を解除し、通常動作に戻します。
- ⑦ **静止画保存ボタン**
表示画面の静止画を保存・印刷します。
"静止画を保存・印刷をする" (P.26)
- ⑧ **コントロール ON/OFF ボタン**
コントロール部の表示を ON/OFF します。

■ [ライブ配信]モード画面

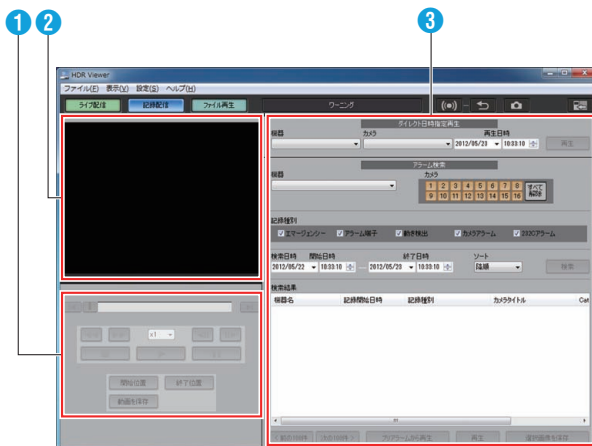
ライブ配信画像を“見る”画面となります。
"HDR Viewer で “見る”" (P.10)



- ① **ライブ配信画像の表示エリア**
ライブ配信画像を表示します。
- ② **日時表示エリア**
現在の時刻を表示します。
- ③ **機器情報表示エリア**
接続する機器情報を表示します。
- ④ **カメラ選択エリア**
カメラの選択状況を表示します。
- ⑤ **操作切替タブ**
レイアウト切替、カメラ操作に関する操作ボタンを表示します。

■ [記録配信]モード画面

ハードディスクレコーダーの記録画像を“探す”画面となります。探した画像を再生します。
"記録配信画面で探す" (P.15)



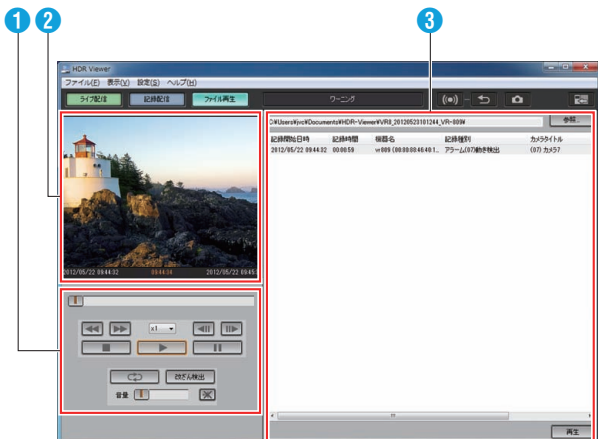
- ① **再生コントロールエリア**
記録配信の再生・特殊再生などの操作ボタンを表示します。
- ② **記録配信画像の表示エリア**
機器に記録された画像を表示します。
- ③ **検索コントロールエリア**
ダイレクト日時検索、アラーム検索に関する操作ボタンを表示します。

■ [ファイル再生]モード画面

USB メモリーやパソコン上のハードディスクなどの外部メディアに記録した記録画像を“探す”画面となります。探した画像を再生、記録画像の改ざん検出が行えます。

"ファイル再生画面で探す" (☞ P.17)

"HDR Viewer で改ざん検出をする" (☞ P.19)



① 再生コントロールエリア

記録ファイルの再生・特殊再生などの操作ボタンを表示します。

② 記録画像の表示エリア

記録ファイルに保存された画像を表示します。

③ 記録ファイルのリスト表示

指定した記録ファイルの保存リストを表示します。

ハードディスクレコーダーを登録する

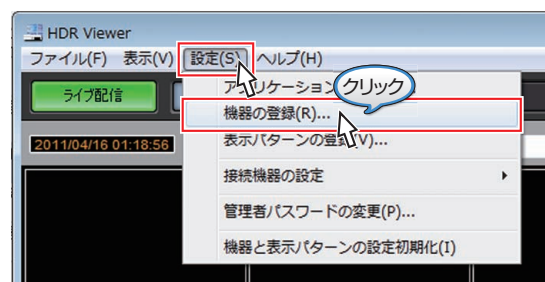
HDR Viewer にハードディスクレコーダーを登録します。

1 管理者権限で HDR Viewer を起動する

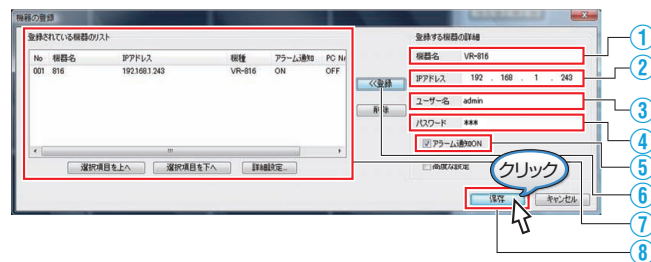
"HDR Viewer の起動と終了" (☞ P.7)

2 [設定]メニューの中の[機器の登録]をクリックする

[機器の登録]画面が表示されます。



3 接続するハードディスクレコーダーを登録する



- ① 接続するハードディスクレコーダーに付ける任意の名前を入力する
- ② 接続するハードディスクレコーダー側の IP アドレスを入力する
- ③ 接続するハードディスクレコーダーのユーザー名を入力する
[ユーザー名]には、管理者のアクセスユーザー権限を持つユーザー名を指定してください。
※ 初期値は、"admin"に設定されています。
- ④ 接続するハードディスクレコーダー側のパスワードを入力する
※ 初期値は、"jvc"に設定されています。
- ⑤ アラーム通知(ワーニング情報)を表示する場合にチェックを入れる
"ハードディスクレコーダーのワーニング情報を表示する" (☞ P.24)
- ⑥ 入力完了したら[<<登録]ボタンをクリックする
- ⑦ 接続する機器との接続確認ができた場合のみ、機器の情報が[登録されている機器のリスト]に表示される
- ⑧ [保存]ボタンをクリックして接続する機器の登録を完了する
"機器の設定を読み込んでいます。しばらくお待ちください。"と表示されます。その表示が消えると登録完了です。
- ⑨ [高度な設定]チェックボックスを ON にすると、パソコン側とハードディスクレコーダー側の NAT/IP マスカレード設定が表示されます。
"NAT/NAPT の設定をする" (☞ P.22)

ご注意：

- 機器との接続が失敗すると、"ネットワークが切断されているか、電源が入っていないため、初期処理ができませんでした。"と表示されます。
- 接続する機器は、1 ブロック当たり、最大 16 台まで登録することができます。

"ブロック別での起動・登録する" (☞ P.27)

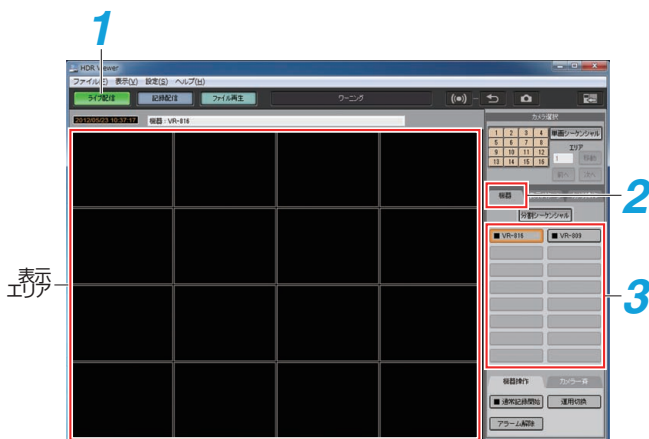
HDR Viewer で “見る”

HDR Viewer の[ライブ配信]画面で、ハードディスクレコーダーのライブ配信画像を見ることが出来ます。

“ライブ配信画面の操作” (P.10)

“ライブ配信画面に表示されているカメラをコントロールする” (P.12)

“表示エリアの画像の一部を拡大して表示する” (P.14)



- 1 [ライブ配信] ボタンをクリックする
表示エリアにライブ配信画像が表示されます。
※[表示]メニュー → [ライブ配信] を選択でも表示されます。
- 2 [レイアウト切換] タブをクリックする
- 3 ライブ配信画像を見たいハードディスクレコーダーを選択する
 - [機器] ボタンをクリック、リストの中からライブ配信画像を見たいハードディスクレコーダーをクリックします。
 - 接続機器の状態が記録中かアラーム記録中の場合はリストの機器表示色が変わります。

表示	状態
	通常状態
	記録状態
	アラーム状態

ライブ配信画面の操作



メモ： _____

- HDR Viewer ユーザーモードで起動した場合、[機器操作] タブ(および 8、9、10 のボタン)は表示されません。

■ カメラ画像の単画面・分割画面表示切り換え

- 分割 → 単画面への切り換え
 - [カメラ選択] エリア 1 で単画面表示したいカメラのチャンネルをクリックする
 - 表示エリアの単画面表示したい画像をクリックする
- 単画面 → 分割画面への切り換え
 - [カメラ選択] エリア 1 で単画面表示中のカメラチャンネルをクリックする
 - 表示エリアで右クリックする

■ 登録された表示パターンでライブ配信画像を見る

- 1 [表示パターン] タブ 4 をクリックする
登録された表示パターンのレイアウトボタン 6 を選択すると、ライブ画像配信が指定された表示パターンに切り換わり、表示エリアに表示されます。

メモ： _____

- 表示パターンの詳細設定につきましては、「表示パターンの詳細設定」(P.22) をご覧ください。

■ 配信画像を自動的に切り換えて見る(シーケンシャル表示)

ハードディスクレコーダーからのライブ配信画像を自動的に切り換えてシーケンシャル表示します。
シーケンシャル表示は、単画面、分割画面どちらでもできます。

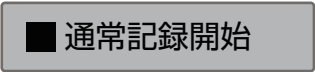
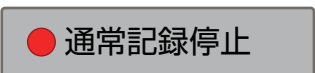

- 1 [単画シーケンシャル] 3 または [分割シーケンシャル] 5 をクリックする
 - 設定された時間で、自動的に配信画像を切り換えて表示します。
 - シーケンシャルの動作は下記 3 つのモードから選択できます。
- ① 単画シーケンシャル
選択した機器の接続カメラ画像を単画面でシーケンシャル動作します。
- ② 分割シーケンシャル(機器)
登録されているすべての機器間をシーケンシャル動作します。
- ③ 分割シーケンシャル(表示パターン)
表示パターンの設定でシーケンシャル動作します。
"表示パターンの詳細設定" (P.22)

メモ： _____

- 切り換え時間の設定につきましては、「HDR Viewer の動作設定をする」(P.19) をご覧ください。
- 画面の切り換えには、数秒かかる場合があります。


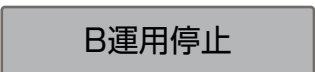
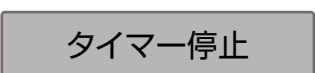
■ 記録を開始・停止する

- 1 [機器]タブ ⑦ をクリックする
- 2 記録開始したい機器を選択し、[通常記録開始]ボタン ⑧ をクリックする
本機の記録設定で、記録対象に設定されているすべてのチャンネルの記録が開始されます。
- 3 記録を停止させたい機器を選択し、機器操作タブの[通常記録停止]ボタン ⑨ をクリックする
 - すべてのチャンネルの記録が停止されます。
 - 接続機器の状態によって[通常記録開始]ボタン ⑧ の表示は下記ようになります。

表示	状態
	記録停止中
	通常記録中
	アラーム記録中

機器の運用状態を切り換える

- 1 [機器]タブ ⑦ をクリックする
- 2 運用状態を切り換えたい機器を選択し、機器操作タブの[運用切換]ボタン ⑩ をクリックする
接続機器の状態によって[運用切換]ボタン ⑩ の表示は下記ようになります。

表示	状態
	通常運用中
	Bモード運用中
	タイマー運用中

メモ：

- 運用モード B/タイマー運用のどちらに切り換わるかは、VR-809/VR-816 の[記録設定]→[記録運用切換]の設定によります。

■ アラーム状態を解除する

機器にアラームが発生している場合、アラーム状態を解除します。

- 1 機器操作タブの[アラーム解除]ボタン ⑪ をクリックする
アラーム状態が解除されます。

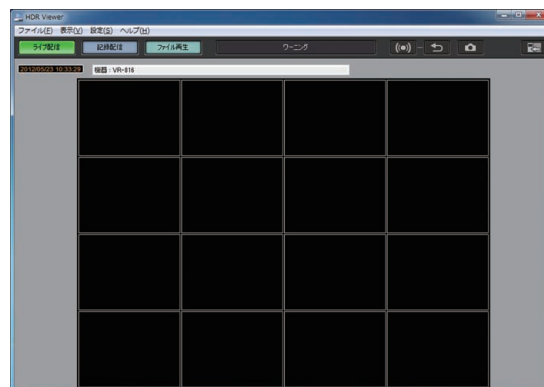
メモ：

- [アラーム解除]ボタンは、機器がアラーム中以外の状態では動作しません。
- アラーム記録中、通常記録の記録停止はできません。[記録開始・停止]ボタンは、アラーム記録中は常に記録開始ボタンとして機能します。

■ 操作用ボタンを表示/非表示する

操作切換タブや、レイアウト切換、カメラ操作に関する操作ボタンなどのコントロールを表示、非表示します。

- 1 コントロール ON/OFF ボタン ⑫ をクリックする
操作用ボタンの表示/非表示が切り換わります。



ライブ配信画面に表示されているカメラをコントロールする

- システムコントロールユニット、IPカメラとシステム連動した場合に機能します。
- カメラ操作を有効にする場合、[機器の詳細設定]のカメラコントロールの各カメラにチェックを入れます。
"機器登録の詳細設定をする" (P.21)



- [ライブ配信]ボタンをクリックする
※ [表示]メニュー → [ライブ配信] を選択でも表示されます。
- [カメラ操作]タブをクリックする
 - カメラ操作のボタンが表示されます。
 - カメラコントロールができる状態の場合のみ操作できます。
- 表示エリアの画像、または[カメラ選択]のカメラ番号をクリックする
選択したカメラのライブ配信画像に、色枠が表示されます。

イメージ	枠の色	意味
	オレンジ	カメラコントロール設定が ON でカメラコントロールできる
	赤	カメラコントロール設定が ON だが、カメラコントロールできない
	暗い黄	カメラコントロール設定が OFF でカメラコントロールができない

- メモ：
- カメラコントロール設定は、"機器登録の詳細設定をする" (P.21) をご覧ください。

4 選択したカメラをコントロールする

コントロール	名称	説明
	パン・チルト操作ボタン / ホームボタン	カメラを矢印の方向に動かします。[HOME]をクリックすると、カメラがホームポジションに移動します。
	パン・チルト動作スピード設定 1~8	パン・チルト動作の移動速度を設定します。(1:遅~8:速)
	クリックオンセンター機能 ON/OFFボタン	クリックオンセンター機能のON/OFFを行います。ONのとき、配信画面枠内をクリックすると、その位置が中心となるように自動で移動します。
	ポジション指定、移動ボタン	移動したいポジションの番号(0~99)を入力します。[移動]ボタンを押すと、指定したポジションに移動します。※1 パン/チルト操作が有効なIPカメラを選択時のみ操作可能です。それ以外のカメラ選択時はグレーアウトとなります。

コントロール	名称	説明
	オートパン / オートパトロール [ON] [OFF] ボタン	オートパン/ON/OFF、オートパトロールON/OFFボタンです。※2 パン/チルト操作が有効なカメラを選択時のみ操作可能です。それ以外のカメラ選択時はグレーアウトとなります。クリックオンセンターON中はグレーアウトとなります。
	ズーム [望遠] [広角] ボタン / ズームの動作スピード設定	[望遠] [広角] ボタンで、カメラのズーム操作を行います。スピードを指定して、ズームの移動速度を設定します。(1:遅~8:速) ズーム操作が有効なカメラのみ操作可能です。それ以外のカメラ選択時はグレーアウトとなります。
	フォーカス [近] [遠] ボタン / オートフォーカスボタン	[近] [遠] ボタンで、フォーカス操作を行います。 [オートフォーカス] ボタンをクリックすると1回オートフォーカス動作します。フォーカス操作が有効なカメラのみ操作可能です。それ以外のカメラ選択時はグレーアウトとなります。
	白黒モード [ON] [OFF] ボタン	白黒モードON/OFFボタンです。IPカメラを選択時のみ操作できます。それ以外のカメラ選択時はグレーアウトとなります。

- ※1:
ポジション指定に表示中のポジション番号は、現在選択中のポジションとは異なる場合があります。
- ※2:
下記の場合、オートパン ON/OFF ボタンは、オートトレース動作 ON/OFF ボタンとして機能します。
- SW-U1403 設定メニューの[システム設定] → [カメラ設定] → [カメラタイプ/標準状態設定]項目でカメラタイプが"通信制御カメラ"に設定されている。
 - カメラ本体のメニューの項目で、[リモコンオートパンキー設定]が"オートトレース"に設定されている。
詳細につきましては、カメラの[取扱説明書]をご覧ください。

- メモ：
- VR-809/VR-816 に接続しているカメラによって、HDR Viewer からできるカメラ操作は異なります。
"ライブ配信画面に表示されているカメラをコントロールする:接続カメラごとのカメラ操作について" (P.13)

- ご注意：
- カメラコントロール中は、アラーム優先機能は ON にできません。
 - カメラコントロール中は、ライブ配信画像のシーケンシャル表示はできません。
 - カメラコントロール中は、ライブ配信画像でのクリックは、ズームではなく、カメラの選択となります。
 - カメラコントロール中で複数画面表示の場合、ライブ配信画像を右クリックすると、単画面表示になります。
 - カメラコントロール中で単画面表示の場合、ライブ配信画像を右クリックすると、複数画面表示になります。
 - スピードが速い設定の場合、表示している配信画像が乱れる場合があります。
 - カメラコントロールの操作権限が取得できない場合は、カメラコントロールができません。操作権限が解放されるまでお待ちください。
 - 1回のボタンクリックでのカメラ移動量は、一定ではありません。
 - ハードディスクレコーダーのメニュー表示中はカメラコントロールができません。
 - カメラコントロールは各カメラの動作および機能仕様に従います。動作しない場合は、カメラ側の設定を確認してください。

接続カメラごとのカメラ操作について

HDR Viewer から接続カメラの操作をする場合、VR-809/VR-816 に登録したカメラ種別によって、操作できる機能が異なります。

(○:カメラ操作可能 ×:カメラ操作不可能)

● SW-U1403 メニュー、[カメラタイプ/標準状態設定]の設定ごとのカメラ操作

	カメラコントロール機能							オート機能			ズーム		フォーカス		白黒
	パン	チルト	スラント (斜め)	ホーム	スピー ド	クリック オンセン ター	ポジショ ン	オート パン	オート トレース	オート パト ロール	望遠/ 広角	スピー ド	近/遠	オート フォーカ ス	白黒 モード
通信制御 ※1	○	○	○	○	○	×	×	○※2	○※2	×	○		○		×
リレーボックス ※1	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×
非通信制御 ※1					×				×		×		×		×
外部カメラ※1					×				×		×		×		×

※1:

SW-U1403 に登録したカメラのタイプを表します。

- 通信制御カメラ:TK-S655、TK-S685、TK-S686B、TK-S686WPB、TK-S576B、TK-S850(レンズ操作のみ)
- リレーボックス:PB-5129
- 非通信カメラ:
TK-S2201、TK-S2201WP、TK-S2202、TK-S2301、TK-S22301WP、TK-S2302、TK-S2401、TK-S2401WP、TK-S2402、TK-S8201、TK-S8201WP、TK-S8301、TK-S8301WP、TK-S8303WP、TK-S8401、TK-S8401WP、TK-S9200、TK-S9300、TK-S9400
- 外部カメラ:VR-809/VR-816 に直接接続したカメラ

※2:

TK-S685、TK-S686B、TK-S686WPB の[リモコンオートパンキー]の設定によって動作が異なります。

● IP カメラの種類ごとのカメラ操作

	カメラコントロール機能							オート機能			ズーム		フォーカス		白黒
	パン	チルト	スラント (斜め)	ホーム	スピー ド	クリック オンセン ター	ポジショ ン	オート パン	オート トレース	オート パト ロール	望遠/ 広角	スピー ド	近/遠	オート フォーカ ス	白黒 モード
コンビネーション カメラ※3					○			○	×	○	○		○		○
HD 固定カメラ、固 定カメラ(デジタル PTZ 機能有効) ※4					○			×	×	○	○		×		○
固定カメラ※5					×				×		×		×		○
HD コンビネー ションカメラ※6					○			○	×	○	○		○		○

※3:

VN-V685、VN-V686B、VN-V686WPB、VN-V686WPC

※4:

VN-H37、VN-H57、VN-H137、VN-H157WP、VN-H237、VN-H237B、VN-H257、VN-H257VP、VN-H257VPB、VN-H257VPC、VN-X35、VN-X235、VN-X235VP

※5:

VN-V26、VN-V225、VN-V225VP

※6:

VN-H657、VN-H657WP

メモ:

● IP カメラのソフトウェアバージョンによっては、接続できなかつたり、一部のカメラ操作ができなかつたりすることがあります。

接続対象カメラについては、当社 Web サイトのハードディスクレコーダーのページをご覧ください。

http://www3.jvckenwood.com/pro/security_sys/index.html

SW-U1403 システムで使用時のカメラコントロール

[シリアル通信制御]を"RS-485"に設定し、SW-U1403 システムで使用する場合のカメラ操作です。



① [プリセット]指定

- 見たいプリセットポジションの番号を入力します。(1~1600)
- [移動] ボタンをクリックすると、入力したプリセットポジションの表示に切り換わります。
入力した番号のプリセットポジションが未設定だった場合、プリセット番号入力ボックス内の数字がクリアされます。
- [前へ]、[次へ] をクリックすると、選択されているプリセットポジションの一つ前、または一つあとに登録されているポジションに移動します。

メモ：

- プリセット指定は、[表示パターン] タブ選択中または [カメラ操作] 時は非表示となります。

② [カメラ一斉] タブ

- [機器] タブをクリックします。
下部の [カメラ一斉] タブをクリックします。
- [一括 HOME]：
SW-U1403 に接続しているカメラを一括でホームポジションに移動させます。
- [ハウジング操作]：
クリックするとハウジング操作ダイアログが表示されます。[ワイパー]、[照明]、[デフロスター] の ON/OFF が行えます。
[閉じる] をクリックすると、ハウジング操作ダイアログがとじます。
- [夜間モード ON/OFF]：
SW-U1403 の夜間モード ON/OFF を切り換えます。

メモ：

- 夜間モードは、SW-U1403 システムの設定によって、カメラの白黒モード切替、記録運用連動、カメラ制御などを一括で動作させることができます。
- SW-U1403 システムが無効の場合は、[カメラ一斉] タブ内のボタンは操作無効(グレーアウト)となります。

表示エリアの画像の一部を拡大して表示する

ライブ配信、記録配信、ファイル再生で、単画面で表示されている画像を拡大表示します。

1 ライブ配信、記録配信、ファイル再生で、単画面で表示されている画像にマウスを移動し、左クリックする

- クリックした位置を中心に、最大4倍まで2段階に拡大表示します。
- 右クリックすると、表示倍率が1段階戻ります。

メモ：

- 単画面表示している状態で、[カメラ選択] ボタンをクリックすると、分割画面表示に戻ります。

ご注意：

- "アラーム優先表示"機能によって、画像が単画面で表示されている場合は、拡大表示はできません。
- "シーケンシャル"機能を使用している場合は、拡大表示はできません。

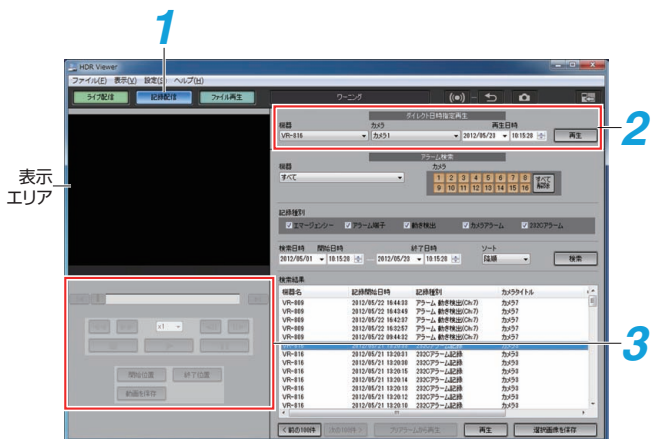
HDR Viewer で “探す”

HDR Viewer で記録画像を探して再生します。
 “記録配信画面で探す” (P.15)
 “ファイル再生画面で探す” (P.17)

記録配信画面で探す

■ 指定した日時の記録画像を再生配信する

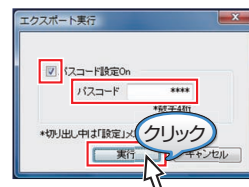
HDR Viewer の[記録配信]画面で、ハードディスクレコーダーに記録された画像を検索して再生することができます。



※1:
 戻りスキップボタン、送りスキップボタン、現在位置スライダーで再生位置を移動後、該当時刻の記録画像が存在しない場合、右方向移動では、新しい時刻で一番近い記録画像を表示します。左方向移動では、古い時刻で一番近い記録画像を表示します。また、ジャンプする範囲内に複数のイベント記録があるとき、現在位置スライダーで指定した再生位置よりもずれることがあります。その場合はダイレクト日時指定再生をご利用ください。

※2:
 [動画を保存]をクリックするとエクスポート実行画面が表示されます。

コピーした画像の再生時にパスワード(4桁)を入力してからのみ再生できるように設定したい場合、[パスワード設定 On]にチェックを入れ、パスワード(4桁)を入力します。
 “再生中の記録画像から保存する” (P.18)



メモ：
 ● 設定時間につきましては、「HDR Viewer の動作設定をする」(P.19)をご覧ください。

1 [記録配信]をクリックする

[記録配信]画面が表示されます。
 ※ [表示]メニュー → [記録配信] を選択でも表示されます。

2 [ダイレクト日時指定再生]コントロールで項目を指定し、[再生]をクリックする

- 登録した機器、カメラ、再生日時を指定し、[再生]をクリックします。
- 再生を開始します。ただし、記録画像がハードディスクレコーダーにない場合は、再生されません。

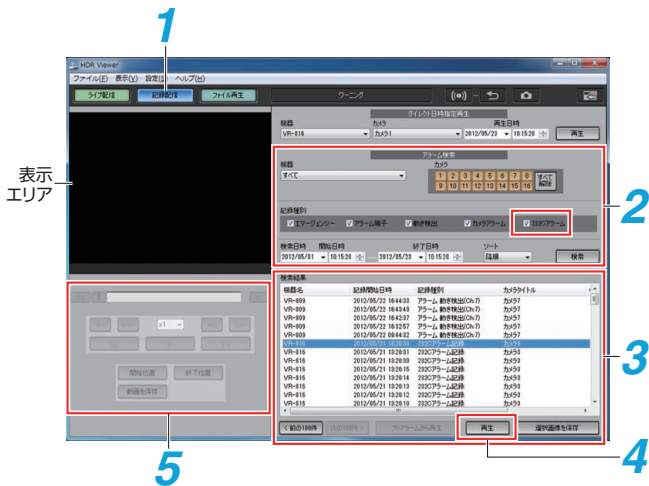
3 再生をコントロールする

コントロール	名称	説明
	戻りスキップボタン	設定した時間分(表示長さ×割合)、戻り方向へスキップジャンプします。※1
	現在位置スライダー	現在の位置を示します。つまみをドラッグして再生位置をジャンプさせることができます。※1
	送りスキップボタン	設定した時間分(表示長さ×割合)、送り方向へスキップジャンプします。※1
	停止ボタン	記録画像の再生を停止します。
	再生ボタン	記録画像の再生を行います。
	コマ戻しボタン	記録画像の表示を1コマ戻します。
	コマ送りボタン	記録画像の表示を1コマ送ります。
	早戻しボタン	再生速度設定の速度で早戻し再生します。
	一時停止ボタン	記録画像の再生を一時停止します。
	早送りボタン	再生速度設定の速度で早送り再生します。
	再生速度設定 ×1/2, ×1, ×3, ×5, ×15, ×30, ×60, ×120, ×360	早戻し・早送り再生速度を設定します。
	切り出し開始位置の設定	切り出し保存開始位置を設定します。切り出し範囲のデフォルト設定は10分です。
	切り出し終了位置の設定	切り出し保存終了位置を設定します。1つのファイルに切り出し保存可能な範囲は、最大30分です。
	動画を保存 キャンセルボタン	切り出し位置の設定をもとに、切り出し保存を実行、またはキャンセルします。

■ アラーム検索再生をする

詳細な条件をもとに、該当する記録画像をリスト表示し、再生します。

5 再生をコントロールする

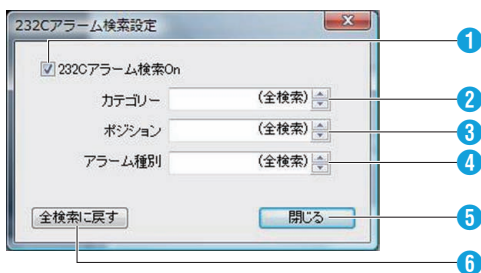


1 [記録配信]をクリックする

[記録配信]画面が表示されます。
※ [表示]メニュー → [記録配信]を選択でも表示されます。

2 [アラーム検索]コントロールで検索条件を指定し、[検索]をクリックする

- 登録した機器、カメラ、記録種別、開始日時、終了日時を指定し、[検索]をクリックします。
- 記録種別の[232C アラーム]をクリックすると、[232C アラーム検索設定]ウィンドウが表示され、カテゴリー、ポジション、アラーム種別がそれぞれ設定できます。
- 指定した項目に該当する検索結果が表示されます。



- 検索を ON/OFF にします。
- カテゴリー番号を指定します。(1~6) 数字入力および右端のタブで数字を選択できます。
- ポジションを指定します。(0:HOME, 1~4000) 数字入力および右端のタブで選択できます。
- アラーム種別を指定します。数字入力および右端のタブで選択できます。
- [232C アラーム検索設定]ウィンドウをとじます。
- すべての設定を初期値 "(全検索)" に戻します。

3 検索結果から再生する記録画像を選択する

4 [再生]をクリックする

選択された記録画像が再生されます。

コントロール	名称	説明
	戻りスキップボタン	設定した時間分(表示長さ×割合)、戻り方向へスキップジャンプします。※1
	現在位置スライダー	現在の位置を示します。つまみをドラッグして再生位置をジャンプさせることができます。※1
	送りスキップボタン	設定した時間分(表示長さ×割合)、送り方向へスキップジャンプします。※1
	停止ボタン	記録画像の再生を停止します。
	再生ボタン	記録画像の再生を行います。
	コマ戻しボタン	記録画像の表示を1コマ戻します。
	コマ送りボタン	記録画像の表示を1コマ送ります。
	早戻しボタン	再生速度設定の速度で早戻し再生します。
	一時停止ボタン	記録画像の再生を一時停止します。
	早送りボタン	再生速度設定の速度で早送り再生します。
	再生速度設定 ×1/2, ×1, ×3, ×5, ×15, ×30, ×60, ×120, ×360	早戻し・早送り再生速度を設定します。
	開始位置	切り出し保存開始位置を設定します。切り出し範囲のデフォルト設定は10分です。
	終了位置	切り出し保存終了位置を設定します。1つのファイルに切り出し保存可能な範囲は、最大30分です。
	動画保存ボタン/ キャンセルボタン	切り出し位置の設定をもとに、切り出し保存を実行、またはキャンセルします。

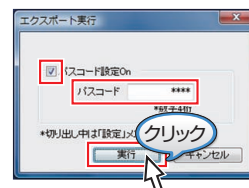
※1:

戻りスキップボタン、送りスキップボタン、現在位置スライダーで再生位置を移動後、該当時刻の記録画像が存在しない場合、右方向移動では、新しい時刻で一番近い記録画像を表示します。左方向移動では、古い時刻で一番近い記録画像を表示します。また、ジャンプする範囲内に複数のイベント記録があるとき、現在位置スライダーで指定した再生位置よりもずれることがあります。その場合はダイレクト日時指定再生をご利用ください。

※2:

[動画を保存]をクリックするとエクスポート実行画面が表示されます。

コピーした画像の再生時にパスコード(4桁)を入力してからのみ再生できるように設定したい場合、[パスコード設定 On]にチェックを入れ、パスコード(4桁)を入力します。
"再生中の記録画像から保存する" (P.18)



メモ:

- 検索結果が 100 件以上の場合には、一度に表示することができません。[<前の 100 件] [次の 100 件] ボタンをクリックして検索結果を表示してください。
- [プリアラームを再生] ボタンをクリックすると、プリアラーム記録されている場合、プリアラーム記録開始時刻から再生を開始します。
- パソコンのタイムゾーンが日本以外に設定されている状態で、ダイレクト日時指定再生、およびアラーム検索を行なった場合、指定時刻に対して日本時間との時差分だけシフトした結果になります。
- 検索結果が 0 件の場合、"検索結果は 0 件でした。"と表示されます。
- 検索中は、"検索中です。しばらくお待ちください"と表示され、検索結果の数によっては時間がかかる場合があります。

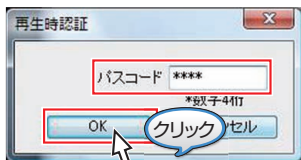
ファイル再生画面で探す

HDR Viewer の[ファイル再生]画面で、USB メモリーやパソコン上のハードディスクなどの外部メディアに記録した画像を探して再生します。
[ファイル再生]画面では、記録画像の改ざん検出も行えます。

"HDR Viewer で改ざん検出をする" (P.19)



- 1 [ファイル再生]をクリックする
※ [表示]メニュー → [ファイル再生] を選択でも表示されます。
- 2 [参照...]をクリックする
保存された記録画像ファイルが含まれたフォルダーを選択します。
- 3 記録画像ファイルの情報がリスト表示される
- 4 リストから再生する記録画像を選択し、[再生]をクリックする
 - 本機の[コピーモード設定]で[パスコード認証設定]が"入"に設定または、HDR Viewer コピー時に "パスコード On"に設定した場合、パスコード確認画面が表示され、パスコードが一致した場合のみ再生することができます。
 - 4桁のパスコードを入力し、[OK]をクリックします。
 - パスコードが一致すると、再生画像表示部に記録画像が再生されます。



- メモ：
- パスコードが間違っている場合、"認証に失敗しました。正しいパスコードを入力してください。"と表示され、再入力を要求されます。
- "HDR Viewer で "コピー" する" (P.18)

5 再生をコントロールする

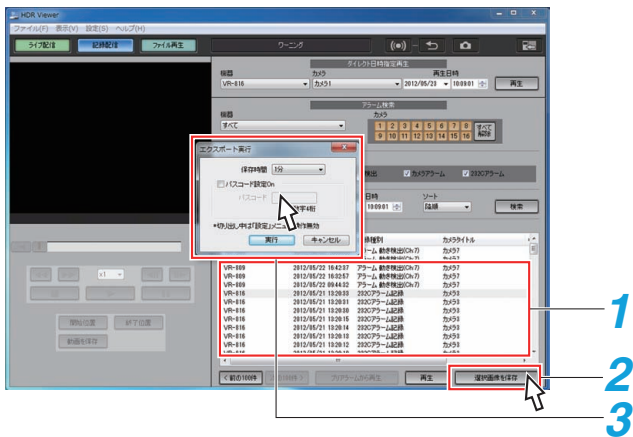
コントロール	名称	説明
	現在位置スライダー	現在の位置を示します。つまみをドラッグして再生位置をジャンプさせることができます。
	停止ボタン	保存した画像の再生を停止します。
	再生ボタン	保存した画像の再生を行います。
	コマ戻しボタン	保存した画像の表示を1コマ戻します。
	コマ送りボタン	保存した画像の表示を1コマ送ります。
	ループ再生ボタン	保存した画像をループ再生します。
	消音ボタン	消音のON/OFF を切り換えます。
	音量スライダー	音量の設定を行います。
	早戻しボタン	再生速度設定の速度で早戻し再生します。
	一時停止ボタン	保存した画像の再生を一時停止します。
	早送りボタン	再生速度設定の速度で早送り再生します。
	再生速度設定 ×1/2, ×1, ×3, ×5, ×15, ×30, ×60, ×120, ×360	早戻し・早送り再生速度を設定します。
	改ざん検出ボタン	保存した画像の再生を中断し、改ざん検出を行います。

- メモ：
- 記録画像が保存されたフォルダーに含まれているファイルの名前を変更した場合、正常に再生できなくなります。
 - リストの記録時間はめやすです。実際の記録時間と異なる場合があります。

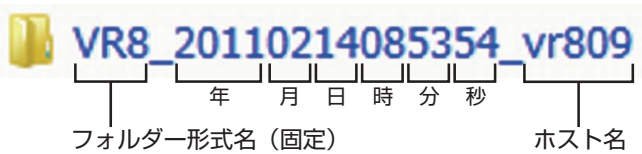
HDR Viewer で “コピー” する

■ 検索結果リストから記録画像を保存する

検索した結果をもとに、記録画像を保存します。



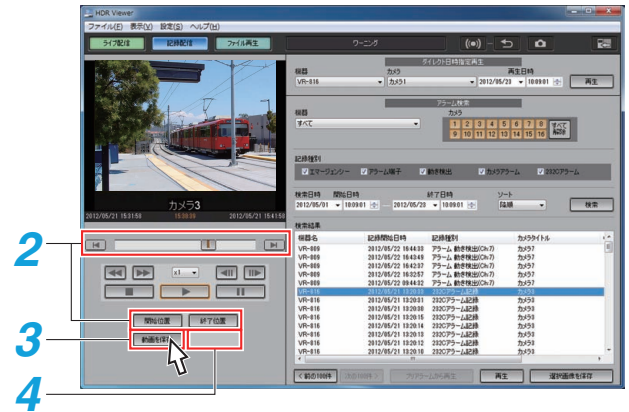
- 1 [検索結果] リストから、保存したい記録画像を選択する
保存したい記録画像をクリックします。
- 2 [選択画像を保存] ボタンをクリックする
[エクスポート実行] 画面が表示されます。
- 3 保存したい時間、パスコードの設定をする
 - 保存時間を "1 分" ~ "30 分" の中から選択します。
 - コピーした画像の再生時にパスコード(4桁)を入力してからのみ再生できるように設定したい場合、[パスコード設定 On] にチェックを入れ、パスコード(4桁)を入力します。
 - [実行] ボタンをクリックします。
- 4 保存の完了
 - 保存処理が完了すると、保存されたフォルダー名がフルパスで表示されます。
 - 保存先は、"HDR Viewer の動作設定をする" (P.19) で指定します。
 - 以下のサブフォルダーが自動的に作成され、画像はその中に保存されます。
例)
保存先フォルダー: D:\JVC\HDR-Viewer
切出し元の機器名: vr809
切出し実行開始時刻: 2011年2月14日8時53分54秒
実際に保存されるサブフォルダー名は
"D:\JVC\HDR-Viewer\VR8_20110214085354_vr809"



- メモ:
- フォルダー名を変更しても、専用ビューワー(HDR Player や HDR Viewer) で閲覧・検索・再生・改ざん検出・静止画保存・印刷をすることができます。ただし、フォルダー内の独自ファイルなどを変更するとビューワーの表示が正常に行われなくなります。

■ 再生中の記録画像から保存する

記録画像の再生中に、[開始位置]、[終了位置] をクリックし、選択した保存範囲の記録画像を保存します。

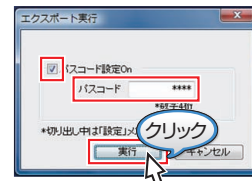


- 1 記録画像を再生する
- 2 保存する範囲を選択する
 - 現在位置スライダーを保存開始時刻に移動し、[開始位置] をクリックします。
 - 現在位置スライダーを保存終了時刻に移動し、[終了位置] をクリックします。

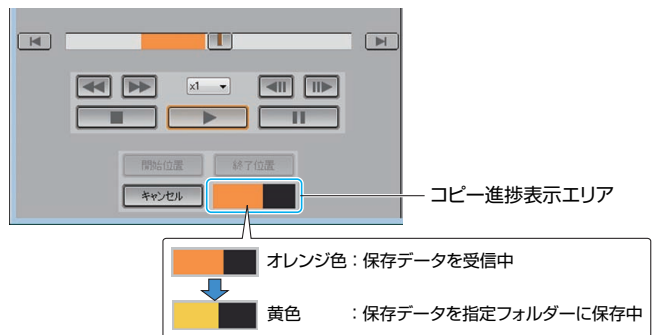
メモ:

- 選択された範囲は、スライダー上に"オレンジ色のバー"で表示されます。
- 最大 30 分まで選択可能です。

- 3 [動画を保存] をクリックする
 - エクスポート実行画面が表示されます。
 - コピーした画像の再生時にパスコード(4桁)を入力してからのみ再生できるように設定したい場合、[パスコード設定 On] にチェックを入れ、パスコード(4桁)を入力します。
 - [実行] をクリックします。



- 4 保存を開始する
 - 保存処理中は、[動画を保存] が [キャンセル] に変わります。
 - [キャンセル] の右側、コピー進捗表示エリアに保存処理状況が下記のように表示されます。



- 5 保存の完了
保存処理が完了すると、保存されたフォルダー名がフルパスで表示されます。

HDR Viewer で改ざん検出をする

- 機器側で[記録詳細設定]の[電子透かし画像]が"入"に設定されている場合、記録画像に改ざん検出信号を記録できます。
- [ファイル再生]画面で、記録画像の改ざん検出の確認ができます。

1 改ざん検出を実行したい記録画像を再生する

2 [改ざん検出]をクリックする

- 保存された記録画像を選択していないと、[改ざん検出]は行えません。(グレー表示)
- 再生を停止し、改ざんを検出します。

3 結果を表示される

終了すると、以下の検索結果が表示されます。

表示メッセージ	改ざん結果
改ざんは検出されませんでした。	再生選択した記録画像データは改ざんされていません。
改ざんされているか、改ざん情報が入っていません。	再生選択した記録画像データが改ざんされているか、記録時に、VR-809/VR-816 本体の[記録詳細設定]の[電子透かし画像]が"切"に設定されていた可能性があります。

メモ：

- 改ざん検出実行後、画像の再生が終了します。

HDR Viewer の詳細設定

- "HDR Viewer の動作設定をする" (P.19)
- "管理者権限パスワードを変更する" (P.20)
- "接続した機器の設定を取得・更新する" (P.20)
- "機器登録の詳細設定をする" (P.21)
- "NAT/NAPT の設定をする" (P.22)
- "表示パターンの詳細設定" (P.22)

HDR Viewer の動作設定をする

HDR Viewer の以下の動作設定が変更できます。

- 記録画像の保存フォルダー先を設定
- ライブ配信の表示設定
- 記録配信を再生するときの動作設定
- パソコンに保存する静止画像の種類(ビットマップ/JPEG)
- ワーニング時のエラー音の有効・無効

- 1 [設定]メニューの[アプリケーションの設定]をクリックする
[アプリケーションの設定]画面が表示されます。



- 2 動作設定を変更する



- 1 記録画像の保存先フォルダーの設定

[参照...]をクリックし、ハードディスクレコーダーの記録画像を保存するフォルダーを選択します。

メモ：

- デフォルト設定では、パソコン上のマイドキュメントフォルダー内の"HDR-Viewer"フォルダーに保存します。

- 2 ライブ画像の表示設定

ライブ配信時の時刻、カメラタイトル、アラームの表示/非表示を設定します。

- 3 シーケンシャル時の切り換え時間を設定

設定可能な時間間隔は、5 秒～60 秒です。

外部機器との接続

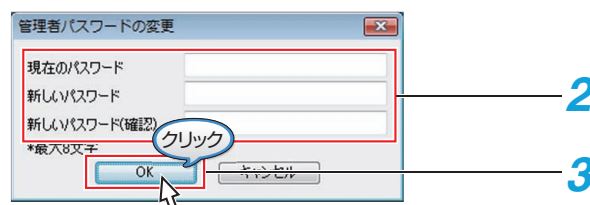
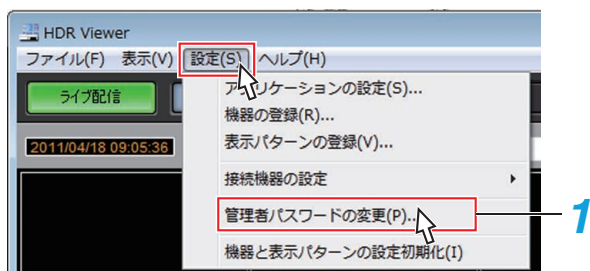
- ④ 本体記録画像を再生するときの動作設定
記録配信時のカメラタイトル、アラームの表示/非表示を設定します。
- ⑤ スライダーが表示する時間の範囲を設定
設定可能な範囲は、1分～60分です。
- ⑥ 送りスキップボタンで移動する時間の割合設定
設定可能な範囲は、30%～100%です。
メモ：
 - スライダーの左端から右端までが100%になります。

- ⑦ 保存する静止画像の種類
"ビットマップ"と"JPEG"から選択できます。
- ⑧ ワーニング時のアラーム音
 - ワーニング発生時のアラーム音の ON/OFF を設定できます。
 - [システム音声を使用]:
システムのサウンド設定で、メッセージ(警告)に割り当てられている音声を使用する。
※該当の音声の設定されていない場合、音は鳴りません。
 - [ユーザー指定の音声ファイルを使用]:
指定ファイルを使用します。
[参照]をクリックし、音声ファイルの参照ダイアログを開きます。
対応しているのは、下記です。
 - [繰り返し再生回数]:
ワーニング表示が1回だけあった場合に、音声ファイルを何回繰り返して再生するかを設定します。
※ワーニングが連続して発生した場合、あとに発生したワーニングによって繰り返し回数をリセットし、再生を続けます。

- メモ：
- [繰り返し再生回数]の設定は、[ユーザー指定の音声ファイルを使用]にチェックを入れている場合にのみ有効です。
 - パソコンに DirectSound 対応音声再生デバイスがインストールされていない場合、アラーム用音声ファイルを設定できません。
 - 対応ファイル
 - 形式: wav(非圧縮 PCM)
 - チャンネル: mono/stereo
 - 量子化 bit 数: 8/16/24bit
 - サンプリングレート: 22.05/44.1kHz

管理者権限パスワードを変更する

ログイン画面で入力する管理者権限のパスワードを変更できます。



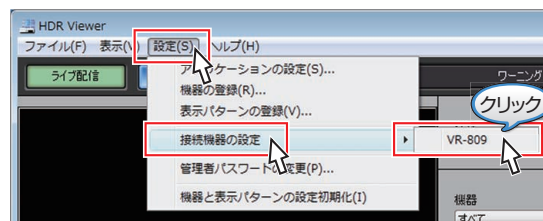
- 1 [設定]メニューの[管理者のパスワードの変更]をクリックする
[管理者パスワードの変更]画面が表示されます。
- 2 [現在のパスワード]と[新しいパスワード]、[新しいパスワード(確認)]を正しく入力する
- 3 [OK]ボタンをクリックする
現在のパスワードが一致すれば、新しいパスワードへの変更完了となります。

- ご注意：
- HDR Viewer のログインパスワードの初期設定は、"jvc"です。
 - HDR Viewer のログインパスワードは、ハードディスクレコーダー側の接続パスワードとは違います。

接続した機器の設定を取得・更新する

機器の設定をパソコン上にテキスト形式ファイルで取得したり、取得した設定データファイルを更新したりすることができます。

- 1 [設定]メニューの[接続機器の設定]の中から対象の機器名を選択する
[HDR 設定の取得・更新]画面が表示されます。

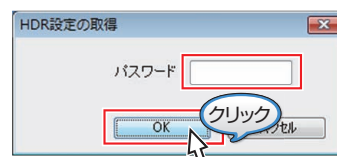


- 2 接続したハードディスクレコーダーの設定をパソコンに保存する場合

- ① [HDR→PC] ボタンをクリックする



- ② [パスワード]を入力し、[OK]をクリックする
機器登録時のパスワードを入力します。
"ハードディスクレコーダーを登録する" (P.9)



- ③ [名前をつけて保存]画面の中で保存するファイル名を記入し、[保存]をクリックする
- ④ パソコンへ保存する

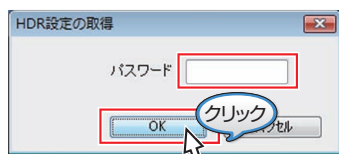
- メモ：
- ファイルの拡張子は、"*.conf"となります。
 - "*.conf"は、テキストファイル形式(UTF-8)のため、設定値の詳細を確認する場合は、テキストエディタを使って参照してください。

3 パソコン上の設定ファイルをハードディスクレコーダーに上書きする場合

① [PC→HDR] ボタンをクリックする



② [パスワード]を入力し、[OK]をクリックする
機器登録時のパスワードを入力します。
"ハードディスクレコーダーを登録する" (P.9)



③ [ファイルを開く]画面で更新する設定ファイル名"***.conf"を選択し、[開く]ボタンを押す

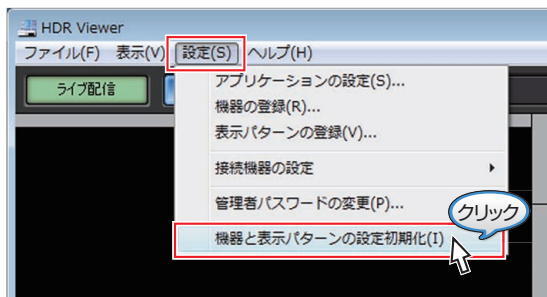
④ 接続した機器への設定値の更新を開始する

ご注意:

- [HDR 設定の取得・更新]で更新を行うと、機器が自動的に再起動します。機器が記録中、プログラムタイマー運用中、メニュー操作中などには更新ができないことがありますので、機器の動作を確認してから更新を行ってください。

機器と表示パターン設定の初期化

機器の登録設定と表示パターンを初期化します。



1 [設定]メニューの[機器と表示パターン設定の初期化]をクリックする
"機器と表示パターン設定を初期化してもよいですか?"と確認画面が表示されます。

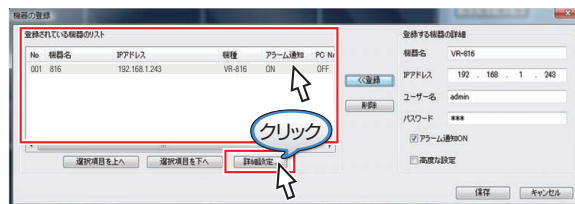
2 [OK]をクリックし、初期化を実行する
"機器の設定を読み込んでいます。しばらくお待ちください"と表示されます。

機器登録の詳細設定をする

HDR Viewer の以下の詳細設定ができます。

- 自動切換(シーケンシャル)時の表示設定
- カメラチャンネル別での非表示、カメラ操作の有効、無効設定
- 配信する画質、配信コマ数の設定

1 機器の登録画面で、登録されている機器のリストから機器を選択する
"ハードディスクレコーダーを登録する" (P.9)



2 [詳細設定]をクリックする

[機器の詳細設定]画面が表示されます。



- 1 機器名を設定します。
- 2 アプリケーションをユーザー権限で起動したとき、HDR Viewer に表示するカメラの ON/OFF を設定します。
- 3 すべての登録機器間の分割シーケンシャル動作時に、シーケンシャル表示 ON/OFF を設定できます。
- 4 単画シーケンシャル時に表示するカメラの ON/OFF を設定できます。
- 5 ハードディスクレコーダー側で検出したワーニング情報を受信するかどうかを設定できます。
- 6 カメラコントロールするカメラの ON/OFF を設定できます。
- 7 ライブ配信および、記録配信する画像の画質・解像度・コマ数を設定します。(初期値:●)
[画質: High(高画質)、●Normal(標準画質)、Basic(中画質)、Long(長時間画質)、Narrow(狭帯域画質)、S.Narrow(超狭帯域画質)]
[解像度: Quad VGA (1280x960)、VGA (640x480)、Half-VGA (640x240)、●QVGA (320x240)]
[コマ数: 30ips、15ips、10ips、6ips、3ips、2ips、1ips、1/2ips、1/5ips、1/10ips]
(単画表示時:●3ips、分割表示時:●1ips)

メモ:

- 新規登録した場合には、表示するカメラはすべて ON、配信する画質は Normal(標準画質)になります。
- ネットワーク回線の状態によって、HDR Viewer でライブ映像や記録画像が見られない状態になる場合、画質・解像度・コマ数の設定を落とすなど設定を見直してください。
- 表示するカメラの設定を OFF にしても、"アラーム優先表示"機能は有効です。ただし、画像は表示できません。アラーム優先表示機能については、"アラームが発生した画像を自動的に表示する" (P.25) をご覧ください。
- 表示するカメラの設定を OFF にしても、記録配信の検索では、検索結果に表示されますが、画像は表示しません。
- ユーザー権限時に表示するカメラの ON/OFF 設定は、HDR Viewer にユーザー権限でログインしている場合のみ有効となります。管理者権限でログインしている場合には、ライブ配信画像が表示され、左上に青色の「H」のマークが追加表示されます。
- 画像配信における実際のコマ数は、ハードディスクレコーダーの動作状況により変化します。ハードディスクレコーダーでは、HDR Viewer の配信要求設定で設定した値が上限となるように配信動作制御します。
- カメラコントロールを ON にしても、カメラが対応していない場合は、カメラコントロールはできません。

NAT/NAPT の設定をする

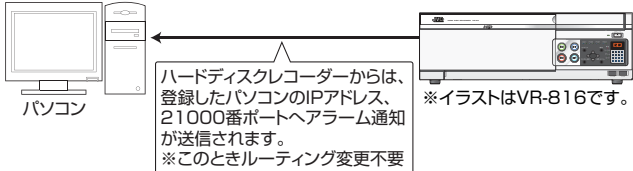
パソコン側、機器側の NAT/IP マスカレード設定をそれぞれ行います。

■ PC 側 NAT/IP マスカレード設定について

アラーム通知をどの IP アドレス/ポート番号に送信するかを機器へ登録します。

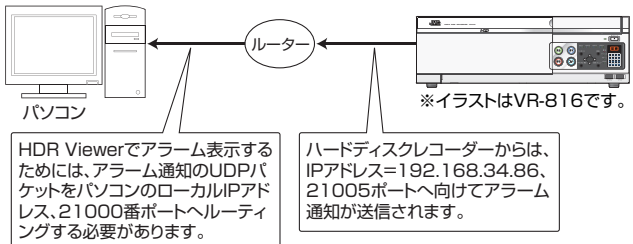
※ただし、HDR Viewer のアラーム通知受信ポート(パソコンが実際に使用するポート)は 21000 番ポート固定です。

PC側NAT/IPマスカレード設定 チェックOFF



PC側NAT/IPマスカレード設定 チェックON

パソコンのグローバルIPアドレス：192.168.34.86
アラーム受信ポート番号：21005



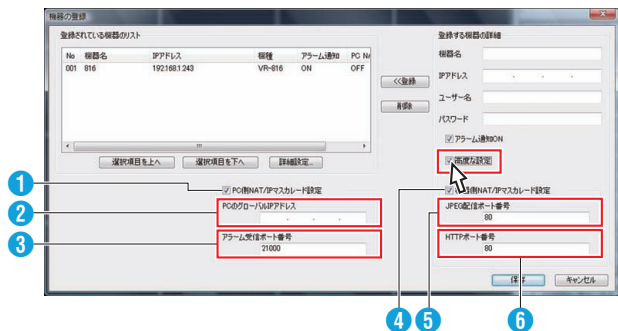
■ 機器側 NAT/IP マスカレード設定について

どのポート番号を使用して API コマンド通信を行うかを設定します。
※基本的には、JPEG 配信ポート・HTTP ポートとも、機器の「配信・制御ポート」設定と同じポート番号(規定値: 80 番ポート)を使用します。

1 機器の登録画面で、登録されている機器のリストから機器を選択する
"ハードディスクレコーダーを登録する" (P.9)



2 [高度な設定]にチェックを入れる
NAT/NAPT の設定画面が開きます。



- ① [PC 側 NAT/IP マスカレード設定] チェックボックス
 - 機器へ登録するアラーム通知先として、任意の値を使用するかどうかを設定します。
チェックすると[PCのグローバル IP アドレス]と[アラーム受信ポート番号]が入力できるようになります。
 - チェックをはずすと、使用のパソコンの IP アドレス、21000 ポートをアラーム通知先として機器へ登録します。
※機器登録後は設定変更できません。

- ② [PC のグローバル IP アドレス]
 - [PC 側 NAT/IP マスカレード設定] ① にチェックが入っている場合、機器はこの IP アドレスへアラーム通知を送信します。
[>>登録]をクリックした時点で値が全機器に対して登録されます。

- ③ [アラーム受信ポート番号]
 - [PC 側 NAT/IP マスカレード設定] ① にチェックが入っている場合、機器はこのポートへアラーム通知を送信します。
[>>登録]をクリックした時点で値が全機器に対して登録されます。

- ④ [機器側 NAT/IP マスカレード設定] チェックボックス
 - API コマンド通信で使用するポートとして、任意の値を使用するかどうかを設定します。
 - チェックすると [JPEG 配信ポート番号] と [HTTP ポート番号] が入力できるようになります。チェックをはずすと、両方 80 番ポートが使用されます。
※機器登録後は設定変更できません。

- ⑤ [JPEG 配信ポート番号]
 - [機器側 NAT/IP マスカレード設定] ④ にチェックが入っている場合、画像配信を行うポート番号を設定します。
登録機器ごとに設定できます。

- ⑥ [HTTP ポート番号]
 - [機器側 NAT/IP マスカレード設定] ④ にチェックが入っている場合、画像配信以外で使用するポート番号を設定します。
登録機器ごとに設定できます。

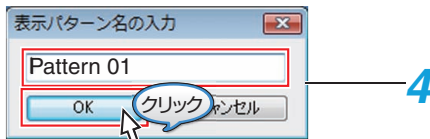
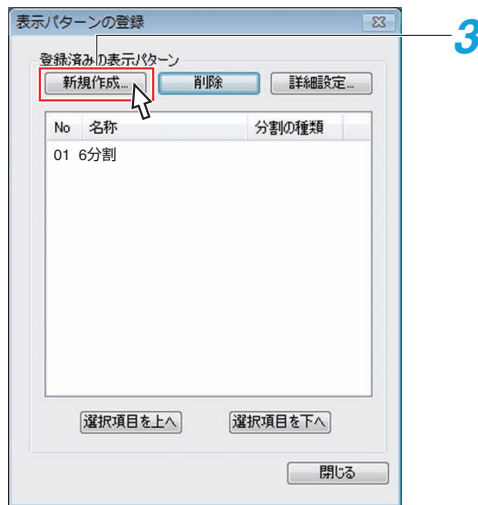
表示パターンの詳細設定

HDR Viewer の表示パターンを管理者権限で登録することができます。
表示パターンを登録すると下記の表示が可能です。

- 複数のハードディスクレコーダーのカメラを同時に表示する
- 表示パターンの中の指定エリアに、任意のカメラのライブ配信画像を表示する

■ 表示パターンを新規に作成する

- 1 管理者権限でログインをする
- 2 [設定]メニューの[表示パターンの登録]をクリックする
[表示パターンの登録]画面が表示されます。



- 3 [新規作成...] ボタンをクリックする
[表示パターン名の入力]画面が表示されます。
- 4 表示パターン名を入力し、[OK] ボタンをクリックする
[表示パターンの登録]画面の[登録済みの表示パターン]のリストの最後に、入力した表示パターン名が追加されます。

メモ:

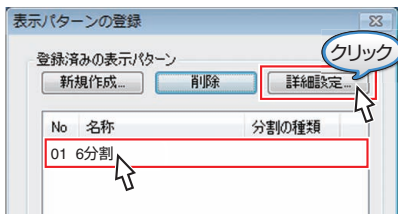
- 表示パターン内に未登録の場所が1つ以上ある場合、分割の種類横に "*"が表示されます。
- 登録済みの表示パターンの順序を変更したい場合は、変更したい表示パターンを選択し、[選択項目を上へ]、[選択項目を下へ] ボタンをクリックして順序を調整します。

■ 表示パターンの詳細設定をする

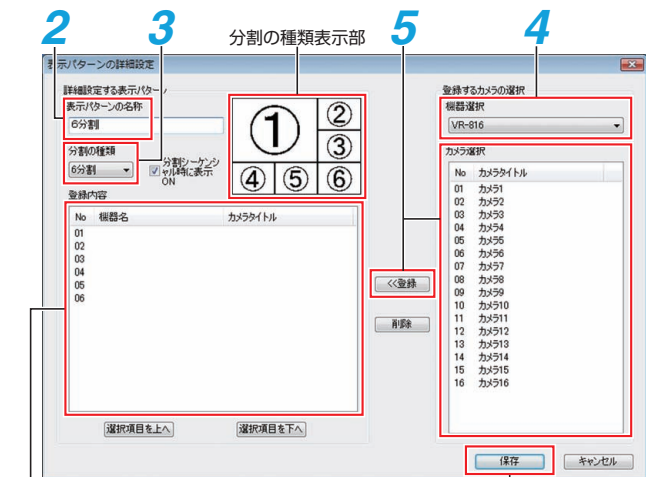
新規作成した表示パターンの設定、登録済みの表示パターンを変更できます。

1 [表示パターンの登録]画面から表示パターンを選択し、[詳細設定...] ボタンをクリックする

[表示パターンの詳細設定]画面が表示されます。



2 [表示パターンの名称]に表示パターン名を入力する



[登録内容]リスト表示部

3 [分割の種類]を選択する

- 表示パターンは、以下の種類から選択できます。
単画面/4分割/6分割/7分割/8分割/9分割/10分割/13分割/16分割
- 分割の種類表示部に、選択された表示パターンのレイアウトが表示されます。
- [登録内容]には、表示パターンのレイアウト番号、機器名、カメラタイトルが表示されます。
- 分割シーケンシャル時に表示する場合は、[分割シーケンシャル時に表示 ON]にチェックをつけてください。

4 [機器選択]からハードディスクレコーダーを選択する

5 [カメラ選択]リストから登録したいカメラを選択し、[<<登録]をクリックする

[登録内容]リストの最後に登録されます。

メモ:

- 登録の順序を変更する場合は、変更するカメラの列をクリックし、[選択項目を上へ]、[選択項目を下へ]をクリックして変更します。
- 登録されているカメラを削除するには、削除するカメラの列を選択し、[削除]をクリックします。
- ハードディスクレコーダー上で同じカメラタイトルが設定されている場合は、表示パターンに登録できない場合があります。登録できない場合は、ハードディスクレコーダー上のカメラタイトルを変更してください。

6 設定が完了したら、[保存]をクリックする

■ 分割の種類一覧

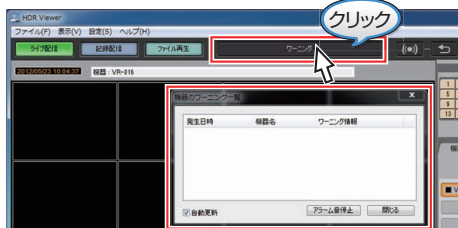
分割の種類	詳細
単画面	
4分割	
6分割	
7分割	
8分割	
9分割	
10分割	
13分割	
16分割	

ハードディスクレコーダーのワーニング情報を表示する

ハードディスクレコーダー側で検知したアラーム・ワーニング情報を受信した場合、ワーニング情報を表示します。ワーニング情報には、以下の情報が含まれます。

- アラーム検出
- 設定変更の実施
- 異常発生検出

- 1 [ワーニング]をクリックする
[機器のワーニング一覧]画面が表示されます。



- メモ：
- [アラーム音停止]ボタンで、アラーム音を停止できます。(ワーニング発生時のアラーム音として、ユーザー指定ファイル再生を選択している場合に操作できません。)
 - "動作設定を変更する：ワーニング時のエラー音" (P.20)
 - HDR Viewer が受信した、過去 100 件までのワーニング情報を表示します。
 - 100 件を越えると、古い情報から削除されます。
 - HDR Viewer を終了すると、受信した内容は破棄されます。
 - [自動更新]のチェックボックスを "ON" にすると、新しく受信したワーニング情報を自動的にリストに追加して表示します。デフォルトは、[自動更新]が "ON" になっています。

■ ワーニング情報一覧

表示内容	説明
通常記録開始	通常記録が開始
記録停止	全チャンネルの記録が停止した
アラーム(*1)リア端子(Ch:*2)	リア端子アラーム入力による記録開始 *1: アラーム端子番号(1~16) *2: 記録カメラ番号(1~16)
アラーム 動き検出(Ch:*)	動き検出記録開始 *: 記録カメラ番号(1~16)
カメラアラーム(Ch:*)アラーム検出	カメラアラーム発生 *: カメラ番号(1~16)
カメラアラーム(Ch:*)アラーム記録	カメラアラーム記録開始 *: カメラ番号(1~16)
アラーム エマージェンシー(Ch:*)	エマージェンシー端子入力による記録開始 *: 記録カメラ番号(1~16)
パスコード不適合検出	パスコード不適合検出による記録開始
232C アラーム記録	RS-232C 経由によるアラーム記録開始
標準運用開始	標準運用設定に切り換え
記録運用*開始	運用設定 1~7 に切り換え *: 運用設定番号(1~7)
B 運用モード開始	運用モード B が開始
B 運用モード停止	運用モード B が停止
タイマーモード開始	タイマー運用が開始
タイマーモード停止	タイマー運用が停止
タイマー記録待機中	タイマー運用モード中のタイマー待機開始
タイマー記録(日付指定)開始	日付指定タイマーによる記録動作開始

表示内容	説明
タイマー記録(P*)開始	プログラムタイマーによる記録動作開始 *: タイマー番号(1~8)
HDD 異常	HDD 機能障害
RAID 機能障害	HDD 機能障害
Codec 異常	ハードウェアエラーを検出した
ファンモーター停止	ファンモーターの停止を検出した
EEPROM 異常	内部メモリーの異常を検出した
Disc ドライブ異常	BD ドライブの異常を検出した
PoE デバイス異常	PoE デバイスの異常を検出した
初期化動作異常	ソフトウェア起動エラーを検出した
メール発報送信失敗	メール発報が送信失敗
オルタネートモード起動	ハードウェア故障時の簡易操作モード起動
HDD 残量なし	HDD 残量がない
HDD 残量僅か	HDD 残量が少量
EVENT 件数残量なし	イベント保存件数残量がない
EVENT 件数残量警告発生	イベント保存件数残量が少量
カメラタイトル変更	カメラタイトルを変更
停電リスト更新	停電復帰が発生
UPS 通信異常	UPS 機器間での通信異常を検出した
パスコード不適合	パスコード入力に失敗
NTP 同期失敗	NTP サーバとの時刻同期に失敗
配信強制停止	機器により画像配信停止された
オペロック ON	オペレーションロック ON
オペロックサブモード ON	オペレーションロックサブモード ON
オペロック OFF	オペレーションロック OFF
システム起動	背面電源ボタン ON/オペレートボタン ON
システム終了	オペレートボタン OFF
システム再起動	内部エラーにより再起動
SW-U1403 夜間モードオン	SW-U1403 で夜間モードを開始
SW-U1403 夜間モードオフ	SW-U1403 で夜間モードを終了
SW-U1403 初期化開始	SW-U1403 の初期化動作開始
SW-U1403 初期化終了	SW-U1403 の初期化動作終了
SW-U1403 過電流検出(Ch:*)	SW-U1403 の端子に過電流が流入した *: 端子番号(1~16)
SW-U1403 通信タイムアウト	機器と SW-U1403 間の通信接続が断たれた
Disc 書き込みエラー	BD/DVD 書き込みエラーが発生
Disc エクスポート開始	BD/DVD エクスポートが開始
Disc エクスポート終了	BD/DVD エクスポートが終了
Disc エクスポートキャンセル	BD/DVD エクスポートが中断された
Disc 見積み開始	BD/DVD エクスポートの見積りが開始
Disc 見積み終了	BD/DVD エクスポートの見積りが終了

表示内容	説明
Disc 見積りキャンセル	BD/DVD エクスポートの見積りが中断された
Disc 見積りエラー	BD/DVD エクスポートの見積り中にエラー発生
USB エクスポート開始	USB エクスポートが開始
USB エクスポート終了	USB エクスポートが終了
USB エクスポートキャンセル	USB エクスポートが中断された
USB 見積り開始	USB エクスポートの見積りが開始
USB 見積り終了	USB エクスポートの見積りが終了
USB 見積りキャンセル	USB エクスポートの見積りが中断された
USB 見積りエラー	USB エクスポートの見積り中にエラー発生
USB 書き込みエラー	USB デバイス書き込みエラーが発生
NET エクスポート開始(*)	NET エクスポートが開始 *: 開始番号(1~5)
NET エクスポート終了(*)	NET エクスポートが終了 *: 開始番号(1~5)
NET 見積り開始(*)	NET エクスポートの見積りが開始 *: 開始番号(1~5)
NET 見積り終了(*)	NET エクスポートの見積りが終了 *: 開始番号(1~5)
アラーム通知設定できません	機器へのアラーム通知先登録に失敗した。
音声ロス(Ch:*)	音声信号未入力 *: カメラ番号(1~16)
SW-U1403 初期化エラー	SW-U1403 と VR-809/VR-816 間での設定不一致による初期化エラー
SW-U1403 カメラ設定不一致(Ch:*)	SW-U1403 とカメラ間での設定不一致を検出 *: カメラ番号(1~16)
SW-U1403 設定メニューオープン	SW-U1403 の設定メニューが開かれた
SW-U1403 設定メニュークローズ	SW-U1403 の設定メニューがとじられた
設定メニューオープン	VR-809/VR-816 の設定メニューが開かれた
設定メニュークローズ	VR-809/VR-816 の設定メニューがとじられた
NAS 手動エクスポート開始	NAS エクスポートの手動実行開始
NAS 自動エクスポート開始	NAS エクスポートの自動実行開始
NAS エクスポート終了	NAS へのエクスポートが終了
NAS 残容量少	NAS の記録可能残容量が少量になっている

表示内容	説明
NAS エクスポートキャンセル	NAS へのエクスポートが中断された
NAS エクスポート書き込み失敗	NAS エクスポート中に書き込みエラーが発生
NAS 容量不足(*)	NAS 容量不足による NAS エクスポート中断 *: NAS 番号(1~5)
NAS 自動エクスポート失敗	VR-809/VR-816 の設定画面表示中、またはエクスポートアクセス数制限により NAS エクスポート自動実行の開始に失敗
NAS 手動エクスポート見積り開始	NAS へのエクスポート手動実行の見積りが開始
NAS 自動エクスポート見積り開始	NAS へのエクスポート自動実行の見積りが開始
NAS エクスポート見積りキャンセル	NAS へのエクスポートの見積りが中断された
NAS エクスポート見積り終了	NAS へのエクスポートの見積りが終了
NAS エクスポート見積りエラー	NAS へのエクスポートの見積り中にエラー発生

アラームが発生した画像を自動的に表示する

ハードディスクレコーダー側で検知したアラーム情報を受信した場合、自動的にライブ配信画像を表示します。

1 アラーム優先ボタンをクリックする

- アラーム優先ボタンが ON の状態(オレンジ色)になり、アラーム優先表示状態が有効となります。
- ハードディスクレコーダーからのアラーム信号を受信すると、自動的にライブ配信表示モードに切り換わり、関連するライブ配信のカメラチャンネルを表示します。



メモ:

- カメラ操作タブ表示中はアラーム優先ボタンを ON にできません。
- アラーム優先ボタンが ON の状態でカメラ操作タブを表示した場合、アラーム優先は OFF になります。

静止画を保存・印刷をする

ライブ配信、記録配信、ファイル再生などで表示している画像を静止画像で保存、または印刷します。

- 1 キャプチャーしたい場面で、キャプチャー・印刷ボタンをクリックする
 - 静止画像が拡大画面で表示されます。
 - [静止画の保存と印刷]画面が表示されます。

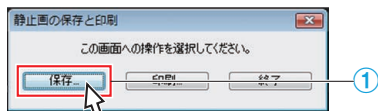


ご注意： _____

- 単画面表示して、[静止画保存] ボタンをクリックしてください。
- 分割画面表示中に、[静止画保存] ボタンをクリックした場合は、左上に表示されているカメラチャンネルが処理の対象となります。アラーム優先表示が分割画面表示の場合も同様です。

2 静止画を保存する場合

- ① [保存...]をクリックします。
- ② [名前を付けて保存]画面が表示されるので、ファイル名を入力して、[保存]をクリックします。

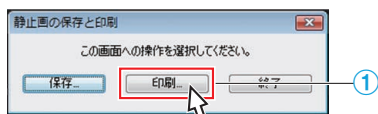


メモ： _____

- "HDR Viewer の動作設定をする" (P.19)にて、保存する静止画像の種類を選択することができます。

3 静止画を印刷する場合

- ① [印刷...]をクリックします。
- ② [印刷]画面が表示されるので、印刷するプリンターを選択して、[OK]をクリックします。



メモ： _____

- 印刷するときの静止画像の解像度は、用紙サイズに合わせて拡大・縮小します。

保存する静止画の解像度(日付情報表示分を含む)

機器の記録モード、配信モードに合わせて、保存する静止画像の解像度は異なります。また、[静止画保存]ボタンをクリックしたときの日付情報表示も静止画像として保存します。

表示している画像	解像度(ピクセル)
ライブ配信	320x260 640x500 1280x960※
再生配信	320x260 640x500 1280x960※
ファイル再生	320x260 640x500 1280x960※

メモ： _____

- 解像度 1280x960 は、本機にメガピクセル対応の IP カメラを接続した場合のみ、保存や印刷ができます。
- 本機のアナログカメラ記録画像モードが、[標準]の場合は、Half-VGA サイズ(640x240)で記録します。保存や印刷の場合は、VGA(640x480)に拡大します。
- 保存・印刷するとき、静止画像に対して、高さ 20 ピクセルの日付情報表示部分を付加します。

ブロック別での起動・登録する

ログイン画面の[選択...]ボタンをクリックすると、HDR Viewer 内部でブロック単位に管理された複数のハードディスクレコーダーを統合管理することができます。

また、パスワード入力欄に管理者パスワードを入力し、[選択...]ボタンをクリックすると、ブロック名を変更することができます。

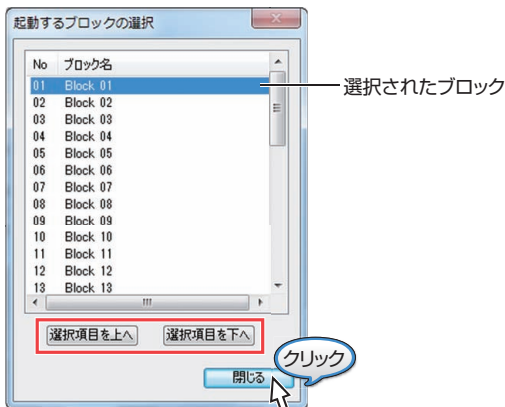
■ 起動するブロックを選択する

- 1 ログイン画面の[選択...]ボタンをクリックする
[起動するブロックの選択]画面が表示されます。



- 2 起動するブロックを選択する

マウスを使い、起動するブロック名にカーソルを移動し、[閉じる]をクリックします。



- 3 HDR Viewer を起動する

- ログイン画面でパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。
- 管理者権限でログインし、ブロック単位での HDR Viewer 設定が可能です。



メモ:

- ブロックとは、最大 16 台のハードディスクレコーダーの設定を保存したものです。
- ブロックは、最大 32 個設定でき、起動するブロックを選択することによって、最大 512 台のハードディスクレコーダーの統合管理ができます。

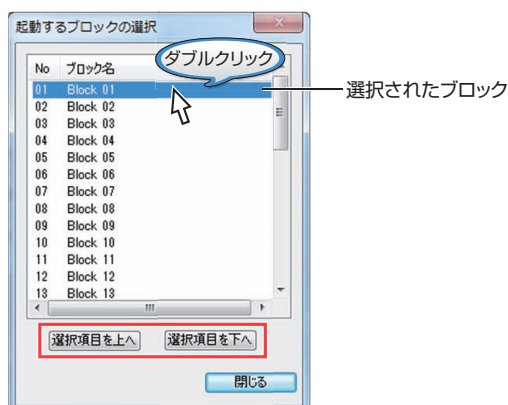
■ ブロック名を変更する

- 1 管理者権限のパスワードを入力し、[選択...]をクリックする
[起動するブロックの選択]画面が表示されます。



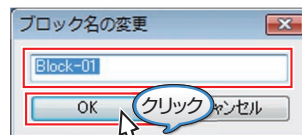
- 2 ブロック名を選択する

マウスを使い、名前を変更するブロックにカーソルを移動し、ダブルクリックします。



- 3 ブロック名を変更する

[ブロック名の変更]画面で、ブロック名を入力し、[OK]をクリックします。



ご注意:

- ブロック名の変更は、管理者権限のみ可能です。
- 入力(設定)可能な文字数は最大 20 文字です。
- ブロック名の重複はできません。

NAS にコピーした画像を HDR Viewer で見る

NAS デバイス上にコピーした記録画像や自動バックアップした記録画像を探して見るができます。

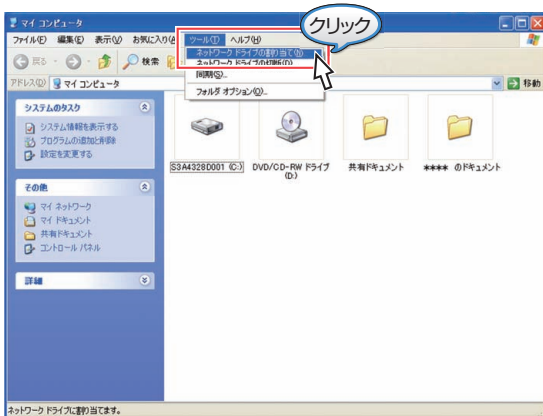
- ネットワークドライブの割り当てで、NAS を接続するドライブを指定します。
 "Windows XP でネットワークドライブを割り当てる" (P.28)
 "Windows 7/Vista でネットワークドライブを割り当てる" (P.29)
- HDR Viewer から指定したドライブのフォルダーを開き、再生する時間フォルダーを選択し再生します。
 "NAS に自動コピーした画像を再生する" (P.30)
 "NAS に手動コピーした画像を再生する" (P.30)

Windows XP でネットワークドライブを割り当てる

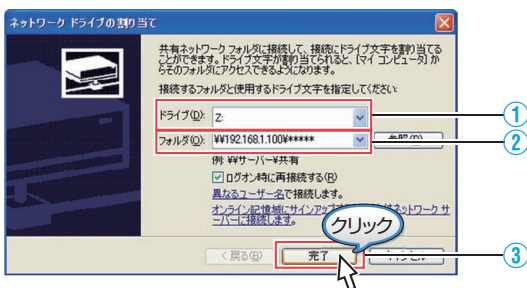
- 1 デスクトップ画面の[マイコンピュータ]をクリックし、[マイコンピュータ]を開く



- 2 メニューバーの[ツール]のプルダウンメニューから[ネットワークドライブの割り当て]を選択する
 [ネットワークドライブの割り当て]画面が表示されます。



- 3 NAS を接続するドライブ、NAS のアドレスを入力し[完了]をクリックする



- ① NAS を接続するドライブを任意で指定します。
- ② NAS のアドレスを指定します。
 入力例)
 ¥ ¥ 192.168.1.100 ¥ *****
 (***** :NAS で設定されている共有フォルダー名)

メモ :

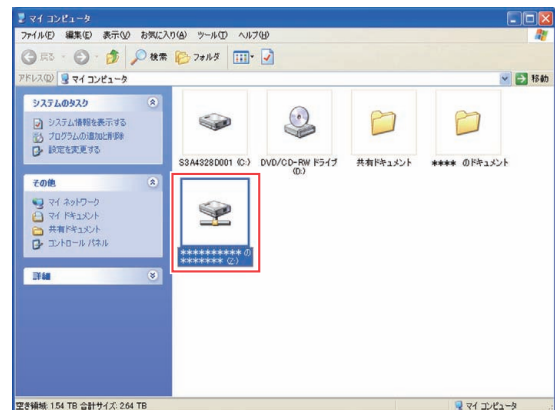
- [運用設定] → [保守全般] → [コピーモード設定] → [NAS コピー設定] → [NAS 指定設定/ログ表示]の[NAS 指定設定]で設定した "アクセス先"と同じアドレスを入力してください。
- ③ [完了]をクリックします。

4 アクセスユーザーの登録を行う



- ① NAS に設定されている共有ユーザー名を入力します。
- ② ユーザーのパスワードを入力します。
- ③ 任意でチェックします。
 チェックをいれると次回から入力する手間が省けます。
- ④ [OK]をクリックします。

- 5 NAS がネットワークドライブに認識・登録されたこと確認する
 図のように登録されたドライブが表示されます。

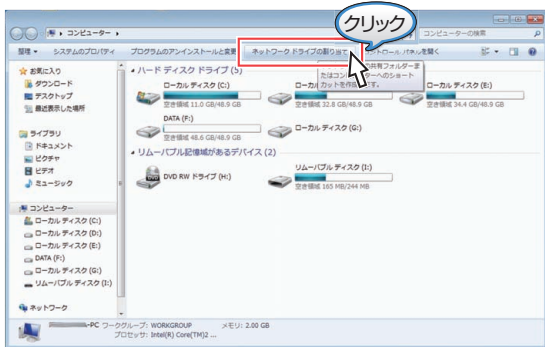


Windows 7/Vista でネットワークドライブを割り当てる

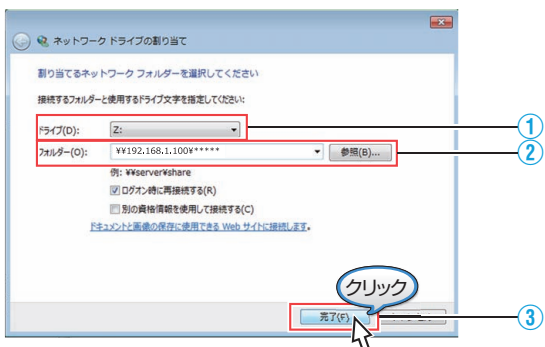
- 1 デスクトップ画面上の[コンピューター]をクリックし、[コンピューター]を開く



- 2 メニューバーの[ネットワークドライブの割り当て]をクリックする [ネットワークドライブの割り当て]画面が表示されます。



- 3 NAS を接続するドライブ、NAS のアドレスを入力し [完了] をクリックする



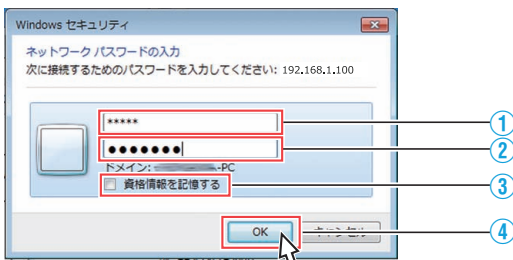
- ① NAS を接続するドライブを任意で指定します。
- ② NAS のアドレスを指定します。
 入力例)
 ¥ ¥ 192.168.1.100 ¥ *****
 (***** :NAS で設定されている共有フォルダー名)

メモ :

- [運用設定] → [保守全般] → [コピーモード設定] → [NAS コピー設定] → [NAS 指定設定/ログ表示] の [NAS 指定設定] で設定した "アクセス先" と同じアドレスを入力してください。

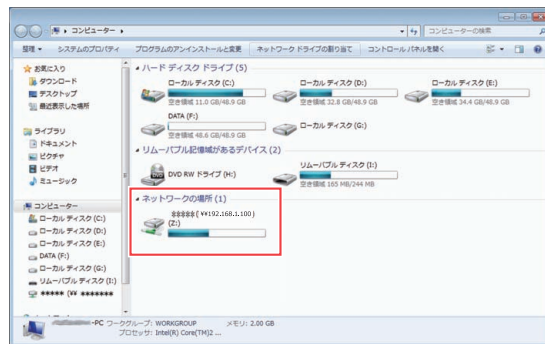
- ③ [完了] をクリックします。

- 4 アクセスユーザーの登録を行う



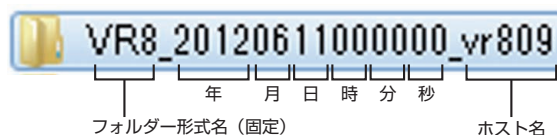
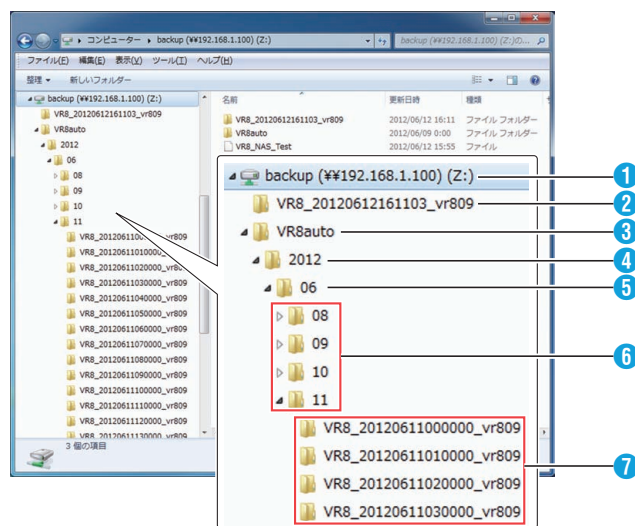
- ① NAS に設定されている共有ユーザー名を入力します。
- ② ユーザーのパスワードを入力します。
- ③ 任意でチェックします。
 チェックをいれると次回から入力する手間が省けます。
- ④ [OK] をクリックします。

- 5 NAS がネットワークドライブに認識・登録されたこと確認する 図のように登録されたドライブが表示されます。



NAS ドライブ内のフォルダー構成

NAS ドライブ内のフォルダー構成は以下のようになります。



- ① NAS が割り当てられているネットワークドライブ
- ② 手動コピーのフォルダー(クイックコピー・IN-OUT 点指定コピー・アラームリストコピーでコピーしたもの)
- ③ 自動コピーのフォルダー
- ④ コピー対象年のフォルダー
- ⑤ コピー対象月のフォルダー
- ⑥ コピー対象日のフォルダー
- ⑦ コピー対象時間ごとのフォルダー(1 時間単位)
 フォルダー名は、年、月、日、分、秒の表記となっています。

NAS に自動コピーした画像を再生する

NAS に自動コピーでバックアップした画像を再生します。

1 HDR Viewer を起動し、ログインする

"HDR Viewer の起動と終了" (P.7)

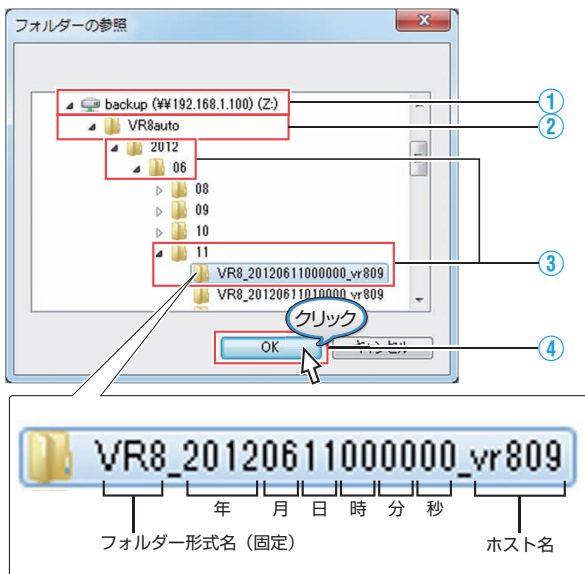


2 [ファイル再生]をクリックし、[参照]をクリックする



3 自動コピーされた画像を選択する

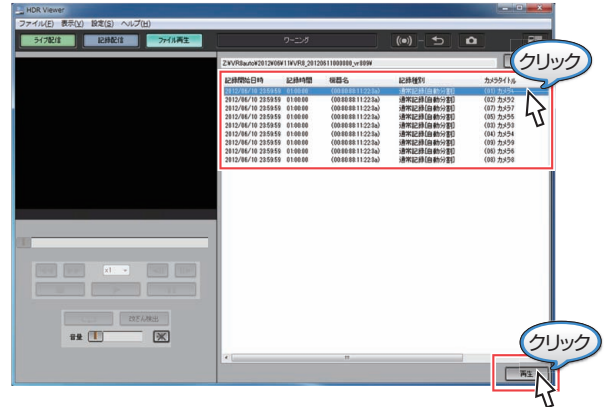
例)NAS にコピーされた、2012年6月11日 00:00の画像を再生します。



- ① NAS が割り当てられているネットワークドライブを選択します。
"Windows XP でネットワークドライブを割り当てる" (P.28)
"Windows 7/Vista でネットワークドライブを割り当てる" (P.29)
- ② "VR8auto"のフォルダを選択
- ③ "2012"年 "06"月 "11"日のフォルダを選択します。
- ④ 再生したい時間(00:00)のストリームフォルダを選択し、[OK]をクリックします。

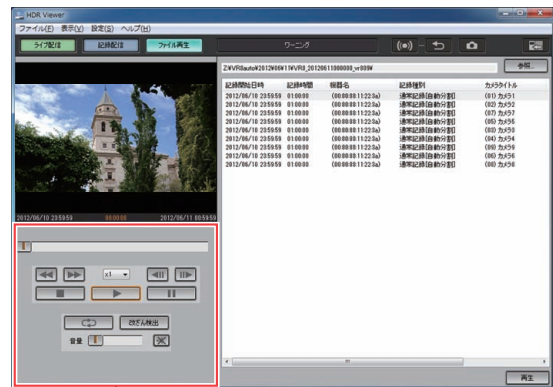
4 自動コピーされた画像・音声を再生する

ストリームフォルダー内のリストが表示されます。任意のカメラを選択し、[再生]ボタンをクリックします。



5 再生をコントロールする

"ファイル再生画面で探す:再生をコントロールする" (P.17)



NAS に手動コピーした画像を再生する

NAS に手動コピー(クイックコピー・IN-OUT 点指定コピー・アラームリストコピーでコピー)した画像を再生します。

1 HDR Viewer を起動し、ログインする

"HDR Viewer の起動と終了" (P.7)



2 [ファイル再生]をクリックし、[参照]をクリックする



3 手動コピーされた画像を選択する

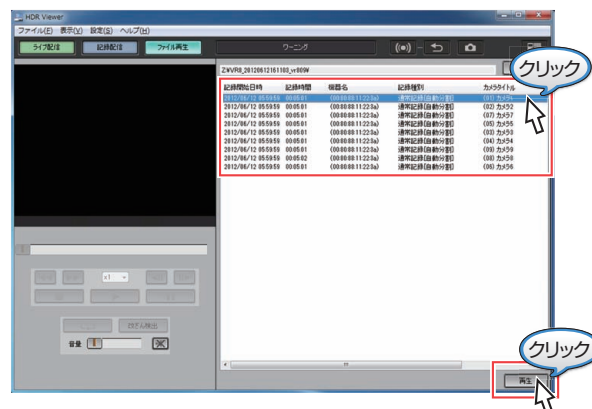
例)NAS にコピーされた、2012年6月12日 16:11:03の画像を再生します。



- ① NAS が割り当てられているネットワークドライブを選択します。
"Windows XP でネットワークドライブを割り当てる" (P.28)
"Windows 7/Vista でネットワークドライブを割り当てる" (P.29)
- ② 再生したい日時(2012年6月12日 16:11:03)のストリームフォルダーを選択します。
- ③ [OK] をクリックします。

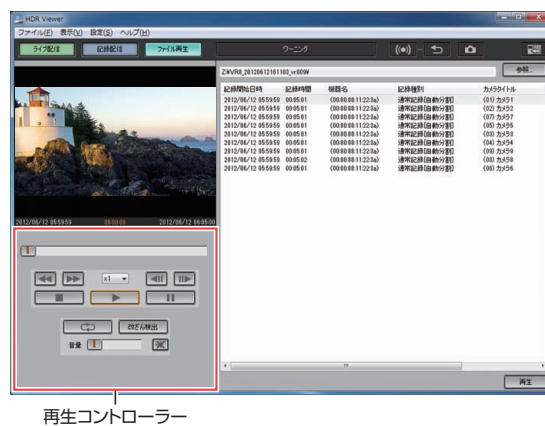
4 手動コピーされた画像・音声を再生する

ストリームフォルダー内のリストが表示されます。任意のカメラを選択し、[再生] ボタンをクリックします。



5 再生をコントロールする

"ファイル再生画面で探す:再生をコントロールする" (P.17)



ビューワソフトウェア(HDR Viewer)操作時の トラブル

症状	原因と対処方法
インストールできない。	<p>→ OS が HDR Viewer の動作環境を満たしているか確認してください。 "HDR Viewer の動作環境" (P.2)</p> <p>→ インストール時に "このセットアップは .NET Framework バージョン 2.0 を必要とします" と表示される場合、VR-809/VR-816 に付属の CD-ROM または Windows Update から Microsoft .NET Framework 2.0 または 3.5 をインストールしてから、HDR Viewer をインストールしてください。</p>
Windows Vista/Windows 7 の環境で、HDR Viewer のメニューやボタン上の文字列のレイアウトが崩れる。	<p>→ OS が Windows Vista/Windows 7 で、DPI スケール設定値が 100%以外に設定されている場合、HDR Viewer の画面レイアウトが崩れる場合があります。 以下の手順により DPI スケール設定を変更し、問題が改善するかご確認ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① デスクトップ画面上で右クリックメニューを開き、[個人設定] を選択してください。 ② [個人設定] 画面左上にある、以下の項目をクリックしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Vista の場合: [フォントサイズ(DPI)の調整] ・ Windows 7 の場合: [ディスプレイ] ③ [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合、[続行] ボタンをクリックしてください。 このとき、パスワードの入力が必要となる場合があります。 ④ 続けて、以下の項目をクリックしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Vista の場合: [DPI スケール] ダイアログ上にある [カスタム DPI] ボタン ・ Windows 7 の場合: [ディスプレイ] 画面上左側にある [カスタムテキストサイズの設定(DPI)] 項目 ⑤ [標準サイズに対してこの割合で大きさを変える] の設定を 100% に設定してください。
表示される日付フォーマットが年月日ではない。	<p>→ OS の日付フォーマットに依存します。元号表記は記録配信画像の再生日時、検索開始終了日時を除いて西暦表記になります。</p>
登録した設定が保存できない。	<p>→ インストール後、Windows Vista/Windows 7 のユーザーアカウント制御の有効/無効を切り換えた場合、登録した機器や表示パターンなど正しく読み込めなくなることがあります。その場合、これらの情報を再度登録してください。</p>
ハードディスクレコーダーを登録、または接続できない。	<p>→ ハードディスクレコーダーの電源が ON になっているか、確認してください。</p> <p>→ OS のファイアウォールの設定を確認してください。</p> <p>→ 機器の IP アドレスや MAC アドレスが重複していないか、確認してください。</p>
ワーニング情報を受信できない。	<p>→ 接続可能なクライアント数は、ハードディスクレコーダー 1 台あたり、最大 5 台までとなります。接続中のクライアントの台数を確認してください。</p> <p>→ ワーニング情報は、UDP の 21000 番ポートに通知されます。実行中のファイアウォールソフトウェアの設定を確認してください。また、他のソフトウェアと競合していないか確認してください。</p> <p>→ ルーター使用時、ルーターの NAT/IP マスカレード設定を確認してください。</p> <p>→ OS のファイアウォールの設定を確認してください。</p> <p>→ ハードディスクレコーダーを入れ換えた場合、ハードディスクレコーダーを再登録してください。</p> <p>→ HDR Viewer 起動時の初期通信に失敗した機器からは、ワーニング情報を受信できません。登録した機器がネットワーク上にある状態で HDR Viewer を再起動してください。</p>

症状	原因と対処方法
ライブ配信画像の表示がごちない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ ハードディスクレコーダーの画像配信負荷に応じて実際の配信コマ数が調整されるため、HDR Viewer 上では配信要求コマ数通りの表示とならないことがあります。単画面表示にすることで改善する場合があります。 ➔ それでも改善されない場合は、配信要求画質の設定値を調整してください。 "機器登録の詳細設定をする" (P.21)
ライブ配信、記録配信の画像全体がブロック状に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 配信要求設定で低い画質を選択している場合、このように表示されることがあります。設定を調整してください。 "機器登録の詳細設定をする" (P.21)
ライブ配信、記録配信の画像の一部がブロック状に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ ネットワークの状態が不安定な場合、このように表示されることがあります。 ➔ ネットワークの状態を改善するか配信要求画質を低く設定すると、改善する場合があります。 "機器登録の詳細設定をする" (P.21)
画像の表示エリアに「接続できませんでした」などと表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ ハードディスクレコーダー 1 台あたり、同時に表示可能なカメラの数は、最大 80 カメラまでです。なお、シーケンシャル表示を行なっている場合は、次に表示される画面のカメラも含まれます。同時に表示しているカメラの数を確認してください。
カメラアラーム記録の検索ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ HDR Viewer 起動時の初期通信に失敗した機器に対しては、カメラアラームを条件に含む記録検索を行えません。登録した機器がネットワーク上にある状態で HDR Viewer を再起動してください。
カメラコントロールができない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 機器の詳細設定で、コントロールするカメラのチェックが ON になっているか、確認してください。 ➔ ハードディスクレコーダーでカメラコントロールできるか、確認してください。 ➔ ハードディスクレコーダーの設定メニューや再生メニューが表示されていないか、確認してください。 ➔ カメラコントロールは各カメラの動作および機能仕様に従います。動作しない場合は、カメラ側の設定を確認してください。
操作対応カメラでパン/チルト操作をしても画角が移動しない。 操作対応カメラでクリックオンセンター操作をしても画角が移動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ デジタル PTZ 操作のみに対応するカメラの場合、パン/チルト操作およびクリックオンセンター操作は、1 段階以上ズームインした状態でのみ有効となります。これらの操作を行う前に、カメラを望遠側へズームしてください。
パソコンにコピーした画像の再生で、画面表示が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ グラフィックボードのドライバを最新のものにしてください。 ➔ [スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[画面のプロパティ]→[設定]タブ→[詳細設定]ボタン→[トラブルシューティング]タブ→"ハードウェアアクセラレータ" の設定を、左から 3 番目(,,DirectDraw および Direct3D すべてのアクセラレータを無効にします。,,)に設定してください。
NAS/BD/DVD/USB にコピーした画像や HDR Viewer で HDD 上にコピーした記録画像が正常に再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 使用しているビューワーソフトウェア(HDR Viewer)の[ヘルプ]ボタンをクリックし、HDR Viewer のバージョン情報をご確認ください。 ➔ 記載が"Version 3.9 (0.0)" 以前の場合は、旧ビューワーソフトウェアのため、同梱されている CD-ROM(Ver 2.40)の中のビューワーソフトウェアを再インストールしてください。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12